

平成24年度

事業報告書

公益財団法人 大阪府文化財センター

平成24年度 事業報告

I 一般庶務

1. 理事会及び評議員会開催状況

平成24年度中、下表のとおり理事会及び評議員会を開催し、上程議案はいずれも承認または可決された。

年 月 日	会議名称	場 所	議 案
平成24年6月4日	第1回理事会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1.平成23年度事業報告及び収支決算について 2.特定費用準備資金等取扱規程(案)について 3.中部調査事務所用地取得積立資産(案)について 4.平成24年度補正予算(案)について 5.中期経営計画(案)について 6.定時評議員会の招集事項について
平成24年6月27日	定時評議員会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1.平成23年度事業報告及び収支決算について 2.特定費用準備資金等取扱規程(案)について 3.中部調査事務所用地取得積立資産(案)について 4.理事の選任について 5.評議員の選任について
平成24年11月16日	第2回理事会	大阪府立弥生文化博物館 1階ホール	1.平成24年度 事業の進捗について 2.法人が解散した場合における残余財産に係る出資金の分配に関する協定書の締結について
平成25年3月22日	第3回理事会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1.平成24年度補正予算書(案)について 2.平成25年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)について 3.業務執行理事(専務理事)の選定について 4.役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部改正について

2. 役員・評議員の異動状況

年 月 日	就 任	辞 任
平成24年4月1日	評議員 水野 正好	
平成24年4月1日	理事長 田邊 征夫	
平成24年4月1日	理 事 黒崎 直	
平成24年4月19日		理 事 狭間 恵三子
平成24年6月4日		理 事 野口 雅昭
平成24年6月27日		評議員 那谷 定彦
平成24年6月28日	評議員 小川 照夫	
平成24年6月28日	理 事 荒井 大作	
平成24年6月28日	理 事 今井 渉	
平成24年6月28日	理 事 井藤 徹	
平成24年11月20日		理 事 濱元 博之
平成25年3月31日		専務理事 山野 重和

Ⅱ 埋蔵文化財調査事業

1. 調査事業

大阪府下における埋蔵文化財の発掘調査、出土遺物の整理等の事業を下記の通り実施した。

(1)〔中部調査事務所管内〕

①防衛省 近畿中部防衛局が施行する非常用電源施設等新設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
田井中遺跡・木の本遺跡 〔調査・整理〕	10,759,000	228	八尾市

②独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 国鉄清算事業西日本支社が施行する吹田(信)基盤整備工事事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
西の庄東遺跡 〔整理〕	12,504,000	0	吹田市

③独立行政法人 都市再生機構西日本支社が施行する北部大阪都市計画事業 吹田操車場跡地土地区画整理事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
吹田操車場遺跡・明和池遺跡 (1) 〔調査・整理〕	5,621,000	6,802	吹田市・摂津市
吹田操車場遺跡・明和池遺跡 (2) 〔調査・整理〕	122,582,000		吹田市・摂津市

④独立行政法人 都市再生機構西日本支社が施行する摂津市千里丘四丁目地区 防災公園街区整備事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
明和池遺跡 〔調査・整理〕	10,765,000	217	摂津市

⑤大阪府都市整備部 寝屋川水系改修工営所が施行する恩智川治水緑地事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
池島・福万寺遺跡Ⅱ 遺物整理 (2) 〔整理〕	13,680,000	0	東大阪市・八尾市

⑥大阪府都市整備部 茨木土木事務所が施行する主要地方道伏見柳谷高槻線(高槻東道路 梶原工区)工事用進入路工事事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
萩之庄南遺跡 〔調査・整理〕	24,555,000	1,630	高槻市
萩之庄南遺跡 (2) 〔調査〕	3,476,000	596	高槻市

- ⑦西日本高速道路株式会社 関西支社が施行する高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線新設事業（高槻～箕面間）、ならびに大阪府都市整備部 茨木土木事務所が施行する主要地方道伏見柳谷高槻線バイパス（高槻東道路 成合工区）整備事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
金龍寺旧境内跡 〔報告書刊行〕	(西) 78,870	0	高槻市
	(府) 251,130		
金龍寺旧境内跡(3) 〔調査・整理〕	(西) 2,078,592	1,146	高槻市
	(府) 8,747,408		

- ⑧西日本高速道路株式会社 関西支社が施行する高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
成合遺跡 〔調査〕	64,644,000	13,217	高槻市
成合遺跡 〔整理〕	7,841,000	0	高槻市
成合遺跡隣接地(2) 〔試掘〕	4,200,000	418	高槻市
金龍寺旧境内跡(2) 他 〔確認・試掘〕	2,050,000	444	高槻市
千提寺西遺跡 〔調査〕	6,604,000	1,064	茨木市
千提寺西(2)・日奈戸遺跡 他 〔調査〕	99,710,000	20,460	茨木市
千提寺南遺跡 〔調査〕	52,529,000	10,914	茨木市
千提寺南遺跡 〔調査・整理〕	1,884,000	886	茨木市
止々呂美城跡 〔調査〕	196,154,000	5,457	箕面市

- ⑨西日本高速道路株式会社 関西支社が施行する高速自動車国道近畿自動車道天理吹田線八尾パーキングエリア新設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
久宝寺遺跡 〔調査・整理〕	36,950,000	168	八尾市

- ⑩三菱地所レジデンス株式会社が施行する共同住宅建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
本町遺跡 〔調査〕	4,221,000	778	豊中市

- ⑪株式会社浅沼組が施行する財務省近畿財務局 公務員宿舍枚方住宅（Ⅰ期）整備事業 民活プロジェクトに伴う発掘調査

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
禁野本町遺跡 〔整理〕	3,150,000	0	枚方市

- ⑫イオンモール株式会社が施行する大型店舗建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
讃良郡条里遺跡 〔調査・整理〕	30,918,000	5,559	四條畷市・寝屋川市

⑬株式会社長谷工コーポレーションが施行する(仮称)阿波座駅前プロジェクト地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
旧大阪府庁舎 [報告書刊行]	615,000	0	大阪市

中部調査事務所管内 計

受託件数 26件
 委託金額 726,568,000円
 調査面積 69,984㎡

(2)〔南部調査事務所管内〕

①防衛省 近畿中部防衛局が施行する格納庫建替事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
田井中遺跡 [調査]	16,293,000	1,972	八尾市

②大阪府住宅まちづくり部 住宅経営室住宅整備課が施行する大阪府営瓜破西(第3期)住宅(建て替え)建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
瓜破北遺跡(2) [調査・整理]	31,290,000	974	大阪市

③大阪府都市整備部 八尾土木事務所が施行する寝屋川水系改良事業(一級河川恩智川法善寺多目的遊水地)地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
大県郡条里遺跡 [調査]	35,468,000	1,980	柏原市
大県郡条里遺跡(2) [調査・整理]	15,811,000	0	柏原市

④大阪府都市整備部 富田林土木事務所が施行する都市計画道路 大阪河内長野線整備事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
池内遺跡(2・府道) [報告書刊行]	426,000	0	松原市
池内遺跡(3・松原市道) [整理]	5,975,000	0	松原市

⑤大阪広域水道企業団 東部水道事業所が施行する送水管布設替工事(4拡南部幹線・東大阪市)事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
鬼虎川遺跡 [報告書刊行]	276,000	0	東大阪市

⑥阪神高速道路株式会社が施行する大阪府道高速大和川線建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
並松町遺跡 〔整理〕	6,409,000	0	堺市

⑦泉佐野市が施行する泉佐野市立長南小学校屋内運動場増改築事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
諸目遺跡 〔調査・整理〕	21,288,000	1,131	泉佐野市

南部調査事務所管内 計

受託件数 9 件
 委託金額 133,236,000 円
 調査面積 6,057 ㎡

<調査事業総計>

受託件数 35 件
 委託金額 859,804,000 円
 調査面積 76,041 ㎡

(平成19年度 調査面積 63,170 ㎡)
 (平成20年度 調査面積 70,203 ㎡)
 (平成21年度 調査面積 67,626 ㎡)
 (平成22年度 調査面積 58,255 ㎡)
 (平成23年度 調査面積 73,521 ㎡)

2. 技術支援

平成21～23年度に引き続き、鳥取西道路建設事業地内で実施された東桂見遺跡・高住平田遺跡・良田中道遺跡の発掘調査について、財団法人（現 公益財団法人）鳥取県教育文化財団からの依頼に基づいて3名の職員を同財団に出向させ、発掘調査の技術支援を行った。

Ⅲ 文化財資料活用事業

文化財の資料活用を図るため、次の事業を実施した。

1. 文化財講演会事業

(1) 平成24年度の講演会事業として、シンポジウム・講演会等を次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	会 場	参加人数	備 考
7月19日	「古代の建物と生活」	一般	大阪府立中央図書館	58	「でかける博物館講座」
8月18日	「邪馬台国から奈良の都へー古代都市成立の道のりー」	一般	オーバルホール	398	理事長・館長承継記念シンポジウムとして毎日新聞社と共催で実施
9月22日	「奥河内の縄文時代」	一般	ノバティホール	80	「くろまる館歴史講座」、河内長野市教育委員会・大阪府教育委員会との共催
11月24日	「激動の時代「慶長」を掘る」	一般	堺市産業振興センターイベントホール	250	文化庁の補助金事業の採択を得て実施
2月23日	調査成果報告会「おおさかを掘るー最新発掘調査の成果ー」	一般	大阪府立近つ飛鳥博物館	54	大阪市教育委員会・大阪市文化財研究所・大阪府立近つ飛鳥博物館との共催事業
3月3日	「堺の風車修復記念シンポジウム」	一般	堺市博物館	101	文化庁の補助金事業の採択を得て実施
3月7日	「巨大古墳の時代から古代国家の時代へ」	一般	近鉄アート館	341	近鉄文化サロンとの共催講座として、近鉄百貨店で実施

計 1,282 名

(2) 外部団体からの依頼を受けて、講演会等を次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	会 場	備 考	参加人数
4月21日	「大坂城跡の発掘調査」	会員	りそな銀行 Re ラクゼ	「りそな銀行個人向け信託セミナー」	8
5月14日	「旧石器・縄文時代の考古学」	学生	桃山学院大学	桃山学院大学「考古学概論」のゲストスピーカー	40
5月16日	「考古学概論」	会員	堺市すえむら資料館	NPO 法人いづみ健老大学「歴史講座」	21

実施月日	内 容	対象者	会 場	備 考	参加人数
5 月 28 日	「弥生時代の考古学」	学生	桃山学院大学	桃山学院大学「考古学概論」のゲストスピーカー	40
6 月 2 日	「八尾南遺跡の調査」	一般	しおんじやま古墳学習館	「しおんじやま学び場」	21
6 月 4 日	「古墳時代の考古学」	学生	桃山学院大学	桃山学院大学「考古学概論」のゲストスピーカー	40
6 月 10 日	「讃良郡条里遺跡の調査」	会員・一般	寝屋川市	寝屋川市の歴史と文化を考える会	50
7 月 5 日	「女王卑弥呼と堺」	一般	堺市立女性センター	堺 自由の泉大学「歴史探訪と考古学」講座	25
7 月 18 日	「教科書に載らない日本の歴史ー大阪発掘物語」	会員	羽曳野市民会館	羽曳野市老人クラブ連合会歴史教養講座	200
8 月 25 日	「東大阪市瓜生堂遺跡・岩田遺跡・花屋敷遺跡の調査成果」	一般	大阪府立近つ飛鳥博物館	大阪府立近つ飛鳥博物館第49回土曜講座	17
9 月 5 日	「古墳時代の考古学1」	会員	泉ヶ丘センタービル	NPO 法人いづみ健老大学「歴史講座」	21
9 月 19 日	「古墳時代の考古学2」	会員	泉ヶ丘センタービル	NPO 法人いづみ健老大学「歴史講座」	21
9 月 19 日	「古墳時代の考古学3」	会員	泉ヶ丘センタービル	NPO 法人いづみ健老大学「歴史講座」	21
9 月 22 日	「卑弥呼の時代の農耕技術革新」	一般	弥生文化博物館	弥生文化博物館夏季特別展考古学セミナー	88
8 月 25 日	「松原市池内遺跡の調査成果」	一般	大阪府立近つ飛鳥博物館	大阪府立近つ飛鳥博物館第50回土曜講座	13
10 月 29 日	「成合遺跡ー山の上の弥生集落とヒスイ勾玉」	一般	高槻市生涯学習センター	高槻市生涯学習センター歴史講座	98
11 月 5 日	「檜尾川流域の考古学ー金龍寺旧境内跡を中心に」	一般	高槻市生涯学習センター	高槻市生涯学習センター歴史講座	88
11 月 28 日	「発掘調査の方法1」	会員	泉ヶ丘センタービル	NPO 法人いづみ健老大学「歴史講座」	21
12 月 5 日	「発掘調査の方法2」	会員	泉ヶ丘センタービル	NPO 法人いづみ健老大学「歴史講座」	21
12 月 8 日	「災害の考古学」	一般	しおんじやま古墳学習館	「しおんじやま学び場」	12
12 月 12 日	「発掘調査の方法3」	会員	泉ヶ丘センタービル	NPO 法人いづみ健老大学「歴史講座」	21

実施月日	内 容	対象者	会 場	備 考	参加人数
12月19日	「発掘調査の方法4」	会員	泉ヶ丘センタービル	NPO 法人いづみ健老大学「歴史講座」	21
1月6日	「災害の考古学」	会員	泉ヶ丘センタービル	NPO 法人いづみ健老大学「歴史講座」	21
1月21日	「考古学が解き明かす戦争の実態」	学生	大阪府立茨木高等学校	茨木高等学校での出前授業	10
1月23日	「遺物整理の手法」	会員	泉ヶ丘センタービル	NPO 法人いづみ健老大学「歴史講座」	21
1月30日	「近現代の考古学」	会員	泉ヶ丘センタービル	NPO 法人いづみ健老大学「歴史講座」	21
2月2日	「考古学から南海地震を探る」	会員	りそな銀行 Re ラクゼ	「りそな銀行信託セミナー」	45
2月2日	「茨木市千提寺西遺跡の六道銭」	会員	尼崎市立小田公民館	2013年出土銭貨報告会	33
2月6日	「発掘調査の手法」	会員	泉ヶ丘センタービル	NPO 法人いづみ健老大学「歴史講座」	21
2月13日	「須恵器のはなし」	会員	泉ヶ丘センタービル	NPO 法人いづみ健老大学「歴史講座」	21
2月19日	「竹内街道の源流－難波大道の発掘調査」	一般	泉ヶ丘センタービル	太子町「南河内郷土探訪－最古の官道・竹内街道1400年」	70
2月20日	「調査報告書の作成」	会員	泉ヶ丘センタービル	NPO 法人いづみ健老大学「歴史講座」	21
3月6日	「博物館学概論1」	会員	泉ヶ丘センタービル	NPO 法人いづみ健老大学「歴史講座」	21
3月21日	「王陵の谷・春日の古墳と古代寺院」	一般	竹内街道歴史資料館	太子町立竹内街道歴史資料館歴史講座	31
3月27日	「考古学の可能性」	会員	泉ヶ丘センタービル	NPO 法人いづみ健老大学「歴史講座」	21

計 1,265名

2. 現地説明会・現地公開事業

平成24年度現地説明会・現地公開等は次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数
4月14日	諸目遺跡現地公開	一般	泉佐野市諸目遺跡	148
4月21日	成合遺跡現地説明会	一般	高槻市成合遺跡	255

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数
5 月 12 日	萩之庄南遺跡現地説明会	一般	高槻市萩之庄遺跡	173
9 月 1 日	讃良郡条里遺跡現地説明会	一般	四條畷市讃良郡条里遺跡	350
3 月 23 日	千提寺遺跡現地説明会	一般	茨木市千提寺遺跡	572
3 月 26 日	本町遺跡現地公開	一般	豊中市本町遺跡	155

計 1,653 名

3. 文化財見学会事業

(1) 文化財見学会事業は次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	見学場所	備 考	参加人数
8 月 9 日	「親子で民家集落探検隊」	一般	日本民家集落博物館	近鉄文化サロン共催『夏休み歴史探検隊講座』	6
8 月 16 日	「弥生時代探検隊」	一般	弥生文化博物館	近鉄文化サロン共催『夏休み歴史探検隊講座』	3

計 9 名

4. 文化財体験学習事業

(1) 体験学習等の受け入れを次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数
7 月 30 日 ～ 8 月 3 日	夏季集中講座「考古学入門」	大阪府立今宮高校 2 年生	弥生文化博物館ほか	8
9 月 10 日	インターンシップ	大阪市立大学生	大県郡条里遺跡	1
10 月 18 日	「考古学体験」	和光高校 2 年生	弥生文化博物館ほか	17
12 月 9 日	集中講座「考古学入門」	大阪府立大手前高校生	弥生文化博物館	3

計 29 名

(2) 発掘現場等の見学の受け入れを次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数	備 考
4 月 16 日	発掘現場見学	5・6 年生	諸目遺跡	190	泉佐野市立長南小学校生徒が見学
4 月 18 日	発掘現場見学	3・4 年生	諸目遺跡	183	泉佐野市立長南小学校生徒が見学

計 373 名

5. 文化財展示事業

(1) 博物館等と連携し、次の展示会等に協力した。

実施年月日	内 容	対象者	会 場	備 考
3 月 7 日～ 5 月 27 日	「最古の官道・竹内街道の源流－難波大道の発掘調査－」	一般	太子町立竹内街道歴史資料館	太子町立竹内街道歴史資料館との共催事業
7 月 6 日～ 7 月 18 日	「旧大阪府庁跡の発掘調査」	一般	大阪市立中央図書館	エントランスギャラリー展示
7 月 14 日～ 8 月 2 日	「成合遺跡の発掘調査」	一般	弥生文化博物館	弥生文化博物館スポット展示
8 月 18 日～ 9 月 9 日	「東大阪市瓜生堂遺跡・岩田遺跡・花屋敷遺跡の調査成果」	一般	近つ飛鳥博物館	近つ飛鳥博物館スポット展示
8 月 18 日～ 9 月 30 日	「奥河内の縄文時代展」	一般	河内長野市立ふるさと歴史学習館	河内長野市教育委員会・大阪府教育委員会との共催
9 月 15 日～ 10 月 8 日	「松原市池内遺跡の調査成果」	一般	近つ飛鳥博物館	近つ飛鳥博物館スポット展示
3 月 3 日	「埋蔵文化財展示」	一般	阪神高速 6 号線工事現場	阪神高速 6 号大和川線現場見学会

6. 文化財広報事業

(1) 当センターの事業年報（23年度）を編集し、発行した。

(2) ホームページにより当センター情報を提供した。

インターネットを通じて、当センターの発掘・調査、イベント、出版等に関する情報を一般に公開し、より一層文化財の普及を図った。

当センターが開催した諸行事に関する情報及び現地公開資料、展示会のリーフレット・ブックレット等をホームページに掲載公開した。また、報道機関にも積極的に情報提供した。

(3) 「関西考古学の日」へ参加した。

「関西考古学の日」は、全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロックが、各財団の普及事業に関する情報を集約し、効率的・効果的に市民に発信することを目的として、平成 20 年度を初回として実施したものである。当センターは、パンフレットの編集・作成を行った。

7. 文化財研究事業

(1) 近畿ブロック埋文研修会に参加した。

第 18 回の平成 24 年度近畿ブロック埋蔵文化財研修会は、公益財団法人大阪市博物館協会大阪文化

財研究所が開催法人となり、平成 24 年 11 月 22 日(木)、大阪市歴史博物館で開催された。『今、推したい、この成果』というテーマで 12 本の研究発表が行われ、当センターからは市村慎太郎が「旧大阪府庁舎跡の調査」と題して発表を行った。

8. 文化財資料収集整理事業

(1) 文献及び文化財情報の収集・整理

- ① 平成 24 年度に購入および受贈等によって収集した図書は下記のとおりである。

購入図書	145冊
研究機関、行政機関等からの寄贈図書	1,280冊
計	1,425冊
累計	82,570冊

- ② 蔵書データベース、雑誌目次データベースの入力を行った。
蔵書データベースは総計 81,475 レコード。

(2) 発掘調査資料の管理

遺物・写真・図面・各種台帳等を管理した。

9. 文化財資料提供事業

(1) 発掘資料の出品、写真、映画等の貸出

① 資料の出品

博物館等からの依頼を受けて下記のとおり資料の出品を行った。

貸出先	使用目的	出品資料
国際交流基金	「日本美術が笑う」展	仏並遺跡：土面ほか
等 21 件	計	15,774 点

② 常設資料の出品

博物館等からの依頼を受けて下記のとおり資料の出品を行った。

貸出先	使用目的	出品資料
九州国立博物館	九州国立博物館 常設展示	大庭寺遺跡：器台ほか
等 9 件	計	253 点

③ 写真資料の貸出

出版社等からの依頼を受けて下記のとおり貸出掲載した。

貸出先	使用目的	出品資料
株式会社 ベストセラーズ	戦国武将の城	大坂城跡：堀の発掘調査の様子
等 20 件	計	154 点

(2) 出版物の寄贈・交換

関係団体等、行政機関、研究機関等に対して当センターの刊行出版物を寄贈配付した。

(3) 図書の出版・販売

① 図書の出版

平成 24 年度は、下記の図書を出版した。

- 1 鬼虎川遺跡
- 2 金龍寺旧境内跡
- 3 旧大阪府庁舎跡
- 4 明和池遺跡 2
- 5 池内遺跡 2
- 6 禁野本町遺跡 2
- 7 池島・福万寺遺跡 14
- 8 池島・福万寺遺跡 15
- 9 並松町遺跡
- 10 明和池遺跡 1 吹田操車場遺跡 8 西の庄東遺跡
- 11 池内遺跡 3
- 12 成合 1 号墳
- 13 田井中遺跡 2・木の本遺跡
- 14 諸目遺跡
- 15 萩之庄南遺跡
- 16 大阪文化財研究 第 41 号
- 17 大阪文化財研究 第 42 号
- 18 摂河泉発掘資料精選Ⅲ
- 19 年報 平成 23 年度
- 20 招提中町遺跡Ⅳ・九頭神遺跡Ⅱ
- 21 寺田遺跡Ⅲ
- 22 瓜破北遺跡
- 23 林遺跡・国府遺跡
- 24 和泉寺跡・府中遺跡Ⅱ
- 25 太井遺跡発掘調査概要・Ⅱ
- 26 大阪府教育委員会文化財調査事務所年報 16

※20 から 26 については大阪府教育委員会刊行物の増刷である。

② 図書の販売

平成 24 年度は、次のとおり販売した。

販売総数 1, 150 冊

10. 保存処理事業

(1) 平成24年度保存処理事業一覧

調査事業に関連して以下の通り保存処理事業を実施した。

遺跡名	処理種別	処理方法	処理数量
近畿道関連	木製品	整理・点検	400点
大坂城遺跡	木製品	整理・点検	800点
池島福万寺遺跡	木製品	整理・点検	200点
下田遺跡	木製品	整理・点検	150点
讃良郡条里遺跡	木製品	PEG-FD処理	200点
大坂城遺跡	木製品	PEG-FD処理	200点
巢本遺跡	木製品	PEG-FD処理	50点
新上小阪遺跡	木製品	PEG-FD処理	50点
若江北遺跡	木製品	PEG-FD処理	100点
瓜生堂遺跡	木製品	PEG-FD処理	110点
花屋敷遺跡	木製品	PEG-FD処理	50点
諸目遺跡	木製品	PEG-FD処理	30点
私部南遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	50点
讃良郡条里遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	20点
大坂城遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	200点
金龍寺遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	20点
有池遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	60点
花屋敷遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	2000点
明和池遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ10箱
西ノ庄東遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ5箱
讃良郡条里遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ5箱
久宝寺遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ10箱
禁野本町遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ10箱
吹田操車場遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ10箱
萩之庄遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ10箱
X線調査	各種遺物	X線透視撮影	金属・有機遺物 50点

PEG: ポリエチレングリコール FD: 真空凍結乾燥を示す。

IV 大阪府立弥生文化博物館事業

1. 常設展示

(1) 第1展示室

「目で見る弥生文化」は、タイムトンネルと実物大の竪穴住居からなる導入ゾーン、「米つくりの始まり」、「新しい技術の誕生」、「ムラ・戦い・クニ」、「交流」、「死とまつり」、「弥生人」の6つのテーマゾーン、全国各地の弥生文化を紹介する弥生プラザの3つのゾーンで、弥生文化をビジュアルに展示した。

弥生プラザは、各地の弥生文化を代表する遺跡から出土し、注目される資料を展示するコーナー。

「和泉寺跡—土器からみた和泉と淡路島の交流—」

平成24年5月12日(土)～平成24年11月11日(日)

「田井中遺跡—河内平野における弥生文化の成立を探る—」

平成24年12月12日(水)～平成25年3月31日(日)

(2) 第2展示室

「池上曽根ワールド」という名称で、池上曽根遺跡から出土した資料のみを展示した。

2. 特展企画展事業

(1) 春季企画展Ⅰ「弥生事件簿—弥生博がみた驚きの大ニュース—」

《入館者数：12,533人》

ア. 開催概要 大阪府立弥生文化博物館は、全国唯一の弥生時代専門の博物館として、過去20年間にわたって弥生文化の魅力を紹介してきました。本展では、この間の弥生時代にかかわる大事件を取り上げ、わかりやすく解説し、また、各事件を博物館がどのように取り上げてきたのかについて触れ、新たな研究課題を浮き彫りにした。

イ. 開催期間 平成24年4月1日(日)～5月20日(日) 会期：44日間

ウ. 開催場所 特別展示室

エ. 入館料 一般400円(320円) 65歳以上および高校大学生300円(240円)

()内は団体割引料金

オ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。

4月1日(日)、4月14日(土)、4月28日(土) 5月12日(土) 《参加者数：合計52人》

(2) 春季企画展Ⅱ「ぎょ?ギョ!魚!!アート魚拓の世界—松永正津と拓正会会員作品展—」

《入館者数：8,662人》

ア. 開催概要 アート魚拓とは、墨や絵具を創作表現して魚を写すものです。魚の姿を見事に描き出し、いまにも動き出しそうな躍動感にあふれています。本展では、えっ!こんな魚を!!という驚きとともに、奥深い技と華やかなアートの世界を楽しんでいただくため、数々のアート魚拓を展示した。

イ. 開始期間 平成24年6月2日(土)～8月5日(日) 会期：56日間

ウ. 場 所 特別展示室

エ. 入 館 料 一般 400 円 (320 円) 65 歳以上および高校大学生 300 円 (240 円)

() 内は団体割引料金

(3) 夏季特別展「穂落とし神の足跡―農具でひもとく弥生社会―」 《入館者数：7,533 人》

ア. 開催概要 弥生文化を象徴する「農耕」―それは、土地に働きかける人間の営みである。弥生時代のはじまりにともなう九州北部にもたらされたその技術は、地域ごとにことなる様相を示しながら日本列島にひろまった。大地への働きかけとして農耕の技術は、「クワ」や「スキ」といった新しい形の道具を受け入れることによって、その当初から体系だったものとして受け入れられてきた。本展では、弥生人が大地にクワを振り下ろすその情景、現代まで脈々と続くその技術が、どのように変化し、我々の文化に根付いてきたかを探った。

イ. 開催期間 平成24年8月14日(火)～10月14日(日) 会期：54 日間

ウ. 開催場所 特別展示室

エ. 入 館 料 一般 600 円 (480 円) 65 歳以上および高校大学生 400 円 (320 円)

() 内は団体割引料金

オ. 印刷物 図録

カ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。

8月14日(火) 26人、8月26日(日) 16人、9月8日(土) 12人、9月17日(月・祝) 13人、9月22日(土・祝) 2人、9月29日(土) 6人、10月6日(土) 8人、10月14日(日) 16人

《参加者数：99 人》

(4) 秋季特別展「縄文の世界像―八ヶ岳山麓の恵み―」 《入館者数：11,882 人》

ア. 開催概要 日本列島に花開いた縄文文化は、世界的にもユニークな発達をとげました。その中でも信州、八ヶ岳山麓はほかに例を見ない繁栄を誇ります。この地には前期より環状集落が出現し、中期に最盛期を迎えます。華やかな装飾が施された土器・土偶は芸術といってよい完成度を誇り、縄文人の精神世界を考える手掛かりともなります。本展では、こうした八ヶ岳山麓の縄文文化の魅力を多角的に紹介し、縄文の世界像に迫った。

イ. 開催期間 平成24年10月25日(木)～12月24日(月・祝) 会期：53 日間

ウ. 開催場所 特別展示室

エ. 入 館 料 一般 600 円 (480 円) 65 歳以上および高校大学生 400 円 (320 円)

() 内は団体割引料金

オ. 印刷物 図録

カ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。

11月3日(土) 45人、11月10日(土) 60人、11月27日(火) 26人(高齢者大学)、12月1日(土) 30人、12月22日(土) 65人

《参加者数：合計 226 人》

(5) 冬季企画展「飾KAZARIー装剣金具の粋ー」

《入館者数：6,861人》

ア. 開催概要 意匠に職人の粋が凝らされた装剣金具。「鎬を削るー」「目貫通りー」など、現在も装剣金具にまつわる言葉は多く使われている。本展では、身近な言葉の由来を紹介しながら、豪華なきらめきを誇るものから実質本位のものまで多様な工芸品の展示を行った。

イ. 開催期間 平成25年1月13日(日)～平成25年3月20日(水・祝) 会期：57日間

ウ. 場 所 特別展示室

エ. 入 館 料 一般400円(320円) 65歳以上および高校大学生300円(240円)

()内は団体割引料金

オ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。

1月14日(月・祝)20人、2月23日(土)29人、3月9日(土)22人

《参加者数：合計71人》

3. 講演会事業

(1) 春季企画展Ⅰ「弥生事件簿」関連

① 考古学セミナー

4月1日(日)「弥生文化研究の20年とこれから」

大阪府立弥生文化博物館長 黒崎 直

《参加者数：45人》

4月14日(土)「弥生文化博物館の20年」

大阪府立弥生文化博物館名誉館長 金関 恕

《参加者数：46人》

4月28日(土)「弥生報道20年×(かける)2」

元読売新聞社編集委員 坪井 恒彦

《参加者数：45人》

5月12日(土)「弥生研究の裏側」

大阪府立弥生文化博物館副館長 三好 孝一

《参加者数：67人》

② 関連ワークショップ

4月7日(土)「弥生の風景を『立版古』でつくろう」

《参加者数：18人》

(2) 春季企画展Ⅱ「ぎょ?ギョ!魚!アート魚拓の世界」関連

① 関連講演

7月21日(土)「ぎょ!?魚の生態」

大阪府立環境農林水産総合研究所 鍋島 靖信

《参加者数：58人》

② 関連ワークショップ

6月16日(土)体験「レッツ・アート魚拓!!」

《参加者数：16人》

7月29日(日)実演「アート魚拓の世界」東洋魚拓拓正会 松永正津氏

《参加者数：185人》

8月5日(日)体験「チリメンモンスターをさがせ!」

《参加者数：41人》

(3) 夏季特別展「穂落とし神の足跡」関連

① 水野正好講演会(全3回) 奈良大学名誉教授

8月14日(火)「農具の発見と研究の歴史ー唐古・鍵から池上曾根へー」

《参加者数：80人》

8月26日(日)「田畑を耕すスキ・クワたち」

《参加者数：62人》

9月 1日(土)「マツリを彩る農具たち」

《参加者数：48人》

② 考古学セミナー

9月 8日(土)「弥生時代の木工技術と農具生産」

首都大学東京教授 山田 昌久

《参加者数：76人》

9月17日(月祝)「近畿地方における古代農具の変遷」

京都大学大学院教授 上原 真人

《参加者数：94人》

9月22日(土祝)「卑弥呼の時代の農耕技術革新」

公益財団法人大阪府文化財センター 江浦 洋

《参加者数：88人》

9月29日(土)「大阪の農具～その特徴と変遷～」

公益財団法人大阪府文化財センター 黒須 亜希子

《参加者数：61人》

10月 6日(土)「弥生～古墳時代における鋤の地域色とその変遷～」

愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター 樋上 昇

《参加者数：76人》

10月14日(日)「忘れ去られた農具二つ」

大阪府立弥生文化博物館 館長 黒崎 直

《参加者数 73人》

③ 関連ワークショップ

8月30日(木)「消しゴムで？ができちゃった」

《参加者数：80人》

9月23日(日)「弥生のきこり体験」

《参加者数：21人》

(4) 秋季特別展「縄文の世界像－八ヶ岳山麓の恵み－」関連

① 考古学セミナー

11月 3日(土)「縄文文化の極致－八ヶ岳山麓の大遺跡群－」

奈良大学名誉教授 水野 正好

《参加者数：151人》

11月10日(土)「ReBORN－八ヶ岳山麓の土器図像と神話文脈」

多摩美術大学芸術人類学研究所特別研究員 田中 基

《参加者数：140人》

12月 1日(土)「縄文農耕論と八ヶ岳山麓の縄文時代集落」

北杜市教育委員会学術課文化財担当リーダー 佐野 隆

《参加者数：122人》

12月22日(土)「縄文農耕論の今日的評価について」

長野県考古学会員 中沢 道彦

《参加者数：120人》

② 関連ワークショップ

10月27日(土)「ミニ土偶をつくろう！」

《参加者数：88人》

12月 8日(土)「土器パズル」

《参加者数：15人》

(5) 冬季企画展「飾KAZARI－装剣金具の粹－」関連

① 考古学セミナー

1月14日(月・祝)「装剣金工の名門・後藤家の歴史」

高槻市しろあと歴史館 千田 康治

《参加者数：36人》

2月23日(土)「京金工の魅力と展開――宮長常から阪井俊政まで――」

大阪歴史博物館 内藤 直子

《参加者数：91人》

3月9日(土)「弥生・古墳時代の刀装具」

大阪府立近つ飛鳥博物館 森本 徹

《参加者数：68人》

② 関連ワークショップ

2月2日(土)「消しゴムで?ができちゃった」

《参加者数：17人》

2月17日(日)「鉄鐔の模様を写し取ってみよう」

《参加者数：14人》

3月17日(日)「鉄鐔の模様を写し取ってみよう」

《参加者数：26人》

(6) 承継記念シンポジウム講演会

《参加者数：398人》

8月18日(土)「邪馬台国から奈良の都へー古代都市成立へのみちのり」 オーバルホール

①「卑弥呼の都」 大阪府立弥生文化博物館 名誉館長(前館長) 金関 恕

②「難波」の宮たち」公益財団法人大阪府文化財センター 前理事長 水野 正好

③「飛鳥・藤原京」 大阪府立弥生文化博物館 新館長 黒崎 直

④「平城京」 公益財団法人大阪府文化財センター 新理事長 田邊 征夫

(7) スポット展示

「高槻市成合遺跡一丘陵上の集落とヒスイ勾玉」7月14日-8月14日

《参加者数：4,392人》

(8) 弥生時代入門講座(近畿弥生の会との共催)

① 6月23日(土)「弥生時代のおわりと土器」

大阪府立近つ飛鳥博物館 総括学芸員 市村 慎太郎

《参加者数：80人》

② 8月25日(土)「サヌカイトと弥生社会」

日本学術振興会特別研究員PD 上峯 篤史

《参加者数：80人》

③ 10月20日(土)「弥生時代後期の鉄器生産の実像」

京都市埋蔵文化財研究所技師 柏田 有香

《参加者数：79人》

④ 12月8日(土)「玉から考える弥生時代の地域性」

公益財団法人大阪府文化財センター副主査 廣瀬 時習

《参加者数：63人》

⑤ 2月16日(土)「弥生時代研究を楽しむ方法」

龍谷大学文学部歴史学科特任教授 國下 多美樹

考古イラストレーター 早川 和子

《参加者数：70人》

5回参加者数

計 372人

(9) 弥生博学芸員が語る「土器のはなしー見る・観る・魅るー」

① 1月12日(土)「土器は何を物語るかー横穴式石室に副葬された土器ー」

《参加者数：80人》

大阪府立弥生文化博物館 館長 黒崎 直

② 1月18日(金)「中世・土器の入口ー黒い土器を知っていますか?ー」

《参加者数：65人》

大阪府立弥生文化博物館 学芸員 柴田 妃三光

③ 1月25日(金)「エミシの土器@東北北部」

《参加者数：85人》

大阪府立弥生文化博物館 主任学芸員 塚本 浩司

④ 2月1日(金)「須恵器のいろは」

《参加者数：129人》

大阪府立弥生文化博物館 学芸員 角南 なつみ

⑤ 2月9日(土)「弥生土器が終わるときー弥生時代から古墳時代の土器を見るー」

- 大阪府立弥生文化博物館 主任学芸員 正岡 大実 《参加者数：110人》
- ⑥ 2月15日(金)「大阪の弥生土器―河内を中心として―」 《参加者数：98人》
大阪府立弥生文化博物館 副館長 三好 孝一
- ⑦ 2月22日(金)「東北北部の縄文土器―土器から社会を考える―」 《参加者数：94人》
大阪府立弥生文化博物館 学芸員 佐藤 直紀
- ⑧ 3月2日(土)「平城京の食卓―貴族のうつわ・庶民のうつわ―」 《参加者数：115人》
公益財団法人大阪府文化財センター理事長 田邊 征夫

(10) 春の連続講演会

- ① 3月26日(火)「玉からみた弥生社会」 《参加者数：95人》
日本考古学協会 大賀 克彦
- ② 3月27日(水)「河内を掘る―弥生時代の墓づくりとまつり―」 《参加者数：100人》
公益財団法人大阪市博物館協会大阪文化財研究所 大庭 重信
- ③ 3月28日(木)「拠点集落と実年代 魔物が棲む、池上曾根遺跡―あの頃の発掘・整備事業とその後―」
公益財団法人大阪府文化財センター 秋山 浩三 《参加者数：94人》
- ④ 3月29日(金)「弥生時代の井戸」 《参加者数：112人》
大阪府立弥生文化博物館 館長 黒崎 直
- ⑤ 3月30日(土)「弥生の風景―唐古・鍵遺跡からわかること―」 《参加者数：136人》
田原本町 豆谷 和之
- ⑥ 3月31日(日)「青銅器時代と弥生」 《参加者数：155人》
大阪府立弥生文化博物館名誉館長・天理大学名誉教授 金関 恕

(11) その他

- ① 7月7日(土)「和泉寺跡―土器からみた和泉と淡路の交流―」 弥生プラザ講座
大阪府教育委員会文化財保護課 土屋 みづほ 《参加者数：39人》
- ② 8月7日(火)「貫頭衣の諸相とデザインの可能性」
武庫川女子大学 教授 横川 公子 《参加者数 64人》
- ③ 2月11日(月・祝)「田井中遺跡―河内平野における弥生文化の成立を探る―」 弥生プラザ講座
大阪府教育委員会 岩瀬 透 《参加者数：20人》

4. 「府民が参加する博物館」事業

(1) やよいミュージアムコンサート

エントランスホールでコンサートを実施した。出演者は公募し、その選考はミュージアムコンサート運営委員会がおこなった。

- 運営委員：安井柁雄（ヴァオリン） 稲本 直（コンサート企画） 太田善照（社会教育） 田中寛治（社会教育）
- 4月 8日(日) 春風にのせて～ピアノ名曲散歩道～ 《参加者数：103人》
樋口五葉（ピアノ）
- 4月22日(日) ファンタジーの世界へ～古典派の幻想曲を集めて～ 《参加者数：150人》
浅川晶子（ピアノ）
- 5月13日(日) 母の日の調べ～波戸岡美紗ピアノリサイタル～ 《参加者数：175人》

- 波戸岡美紗 (ピアノ)
- 5月27日(日) Atelier en musique～音楽のアトリエ～ 《参加者数：231人》
小谷朋子 (ピアノ)、山崎江美子 (ヴァイオリン)
- 6月17日(日) ロマンズⅡ～前田みねり・ヴァイオリンコンサート～ 《参加者数：315人》
前田みねり (ヴァイオリン)
- 7月1日(日) ～妖精たちの音楽会～ 《参加者数：213人》
山口和子 (ソプラノ)、西村 彩 (ピアノ)
- 7月15日(日) ～風と木の調べ～ 《参加者数：262人》
KCO室内アンサンブル
高橋夏樹 (フルート)、政次知己 (オーボエ)、大沼正史 (クラリネット)
西島直子 (ファゴット)、石谷亮介 (ホルン)、十川登志夫 (チェロ)
浜崎綾子・三木弦 (ヴァイオリン)、萩原 愛 (ヴィオラ)
- 7月22日(日) ～初期ロマン派の調べ～ 《参加者数：216人》
土岐友季子 (ピアノ)
- 7月28日(土) ～オリジナル楽器で聴く華麗なるピアノ五重奏の世界～ 《参加者数：251人》
デンハーグ五重奏団
小川加恵 (フォルテピアノ)、高橋未希 (ヴァイオリン)
アダム・レーマー (ヴィオラ)、山本 徹 (チェロ)、角谷朋紀 (コントラバス)
- 8月19日(日) フランスの香りに魅せられて 《参加者数：208人》
～ジョイント×ジョイントコンサート～
橋本久美子 (ホルン)、白鷹里衣子 (ピアノ)、玉垣智子 (ピアノ)
- 9月2日(日) ピアノでめぐる初秋の旅 《参加者数：173人》
北下那緒・常瑠里子・原田祐子・佐藤さや香 (ピアノ)
- 9月16日(日) ピアノの調べ～世界の旅～ 《参加者数：133人》
加納恭子 (ピアノ)
- 10月13日(土) バロックの魅力～ ワークショップ&コンサート 《参加者数：132人》
吾妻優子 (チェンバロ)、吉田奈穂 (フルート)、井端健一 (演出)
- 10月21日(日) まざまな作品をとおして見るピアノテクニックの変遷 《参加者数：126人》
宋 和純 (ピアノ)
- 11月4日(日) Shall Weテオフィール?～モーツァルトからジャズまで～ 《参加者数：230人》
田久保友妃 (ヴァイオリン)、辻合佑璃 (フルート)、古川真也 (サクソ)
植田祐加里 (ピアノ)
- 11月18日(日) ピアノの調べ～名曲で彩る秋のひとつとき～ 《参加者数：191人》
竹田加奈子 (ピアノ)、木村彩乃 (ピアノ)
- 12月2日(日) ～雪の音色～上平田亜夕&北出英里 《参加者数：188人》
上平田亜夕 (ピアノ)、北出英里 (ピアノ)
- 12月9日(日) ～オータム・ピアノエレガンス～ (台風接近のため延期) 《参加者数：132人》
氏田敬子・塩野明美 (ピアノ)
- 12月16日(日) 天使の響き～ハンドベルコンサート～ 《参加者数：183人》
ドリーム21ハンドベル教室 (ハンドベル)
- 1月5日(土) ～津軽三味線で新春を寿ぐ～ 《参加者数：271人》
亀谷英明&亀甲会社中 (津軽三味線)
- 1月13日(日) ～箏・三絃・尺八による新春コンサート～ 《参加者数：275人》
邦楽合奏団「地湧」(箏・三絃・尺八)
- 1月27日(日) ～Romantic Fantasy～ 《参加者数：152人》
井阪あゆみ (ピアノ)・北住里恵 (フルート)
- 2月10日(日) Guten Appetit～どうぞ召し上がれ～ 《参加者数：193人》
中島智佳子・西尾有加・野口 歩 (ソプラノ)、村岡裕子 (メゾソプラノ)
太田紀子 (ピアノ)
- 2月24日(日) Jazz & Pop～心にしみる南部弁ジャズ～ 《参加者数：261人》
MEGU (ボーカル)、フィリップ・ストレンジ (ピアノ)
- 3月10日(日) あなたに送る音の手紙～弥生の風にのせて～ 《参加者数：242人》
佐野真弓 (トランペット)、吉里瞳子 (ソプラノ) 星川響子 (ピアノ)

3月24日(日) Chou Chou De Enjoue
～アンジュエのお気に入り～
鈴木彰子・西山亜弓子(ピアノ)

《参加者数：274人》

(2) ミニギャラリー

エントランスホールで絵画等の展示を行った。

- ① 4月10日(火)～4月21日(土) 「青藍会 日本画・水彩画」 《入館者数：3,945人》
- ② 7月3日(火)～7月14日(土) 「潮見満英ばく画展 天神祭とたつ」 《入館者数：848人》
- ③ 8月4日(土)～8月18日(土) 「第17回卑弥呼の時代を描こう絵画コンクール優秀作品展」
《入館者数：4,579人》
- ④ 11月20日(火)～11月27日(火) 「貫頭衣コンテスト優秀作品展」 《入館者数：828人》
泉大津市との連携
- ⑤ 3月12日(火)～3月23日(土) 「大和・紀州・信濃を描く 矢内隆久個展」 《入館者数：806人》

(3) 第17回絵画コンテスト「卑弥呼の時代を描こう」

小中学生から弥生時代をイメージした絵を募集し、優秀作品をエントランスホールで展示した。

審査員：小灘一紀(洋画家・日展評議員) 上田正克(児童画指導者・元泉大津市立浜小学校校長)

- ① 応募期間：6月1日(金)～6月30日(土)
- ② 応募点数：450点
- ③ 表彰式：8月4日(土)

金賞「へやの中で鏡うらない」尾島憲太(堺市立上野芝小学校6年)

金賞「たて穴住居と米づくり」藤井くるみ(岸和田市立旭小学校6年)

銀賞2点、銅賞2点、佳作10点、入賞85点

(4) ボランティア活動

ワークショップ協力、展示室巡回、書庫整理。障がい者来館補助等の分野で活動を行った。

《活動日数：138日 協力者数：278人》

- 4月「土器パズル」、「展示室巡回」、「弥生の弓矢体験等」9日 《協力者数：14人》
- 5月「犬人形等」、「展示室巡回」、「土器パズル」、「弥生米つき体験」6日 《協力者数：9人》
- 6月「展示室巡回」、「土器パズル」、「石器を使ってみよう」5日 《協力者数：11人》
- 7月「道具づくり」、「土器パズル」、「弥生火おこし体験」11日 《協力者数：19人》
- 8月「図書整理」、「土器パズル」、「魚を釣って石器できろう」、「鳥形紙ひこうきを作ろう」
「弥生博フェスタ」14日 《協力者数：35人》
- 9月「道具作り」、「図書整理」、「土器パズル」、「土器に触れてみよう」16日 《協力者数：29人》
- 10月「資料整理」、「道具作り」、「土器パズル」、「米つき体験」15日 《協力者数：29人》
- 11月「資料整理」、「土器パズル」、「道具作り」、「石器を使ってみよう」17日
《協力者数：35人》
- 12月「資料整理」、「土器パズル」、「鏡をつくろう」12日 《協力者数：23人》
- 1月「資料整理」、「土器パズル」、「用具製作」、「弓矢体験」8日 《協力者数：17人》
- 2月「冬展WS」、「土器パズル」、「資料整理」、「道具づくり」12日 《協力者数：21人》
- 3月「弥生フェスティバル土器パズル」「資料整理」、「道具づくり」13日 《協力者数：36人》

<ボランティアの内容>

点訳ボランティア：図録の点訳、視覚障がい者の来館補助等

翻訳ボランティア：開催要項等の英語訳等

平日ボランティア：展示室巡回、書庫整理、体験学習素材の作成等

土曜ボランティア：土器パズル等体験学習の補助

5. 「博物館 in school」事業－博学連携事業

(1) 小中学校の団体見学受け入れ

事前に説明会を催し、また、館内案内ビデオの貸出しを行うことで事前学習の一助とした。また、見学をより充実したものにしてもらうため、ホームページ上にワークシート8種類を用意し、各学校に利用を呼びかけた。見学当日には、各団体の意向に沿って学芸員や教育専門員が展示解説を行い、展示室での学習を支援した。

《入館者数：10,589人・126校》

＜堺市＞若松台小学校、城山台小学校、錦綾小学校、原山台東小学校、竹城台東小学校、三国ヶ丘小学校、東三国小学校、城山小学校、浅香山小学校、錦小学校、福泉東小学校、市小学校、安井小学校、上野芝小学校、浜寺昭和小学校、鳳小学校、深井小学校、久世小学校、東浅香山小学校、高倉台小学校、深井西小学校、日置荘小学校、庭代台小学校、浜寺東小学校

＜和泉市＞国府小学校、光明台北小学校、光明台南小学校、信太小学校、幸小学校、旭小学校、芦部小学校、和気小学校、北松尾小学校、南松尾小学校、横山小学校、青葉はつがの小学校、黒鳥小学校、鶴山台北小学校、鶴山台南小学校、大阪府立和泉支援学校中学部、池上小学校

＜泉大津＞上條小学校、浜小学校、楠小学校、穴師小学校、条南小学校

＜高石市＞高石小学校、高陽小学校、羽衣小学校、加茂小学校、清高小学校

＜忠岡町＞忠岡小学校、東忠岡小学校

＜田尻町＞田尻町立小学校

＜岸和田市＞城内小学校、東葛城小学校、旭小学校、八木北小学校、八木南小学校、太田小学校、大阪府立岸和田支援学校中学部

＜貝塚市＞二色小学校、北小学校

＜泉南市＞新家東小学校、新家小学校

＜熊取町＞西小学校

＜大阪市＞遠里小野小学校、荻田北小学校、新平野西小学校、弁天小学校、平林小学校、喜連小学校、喜連西小学校、萩之茶屋小学校、梅香小学校、佃小学校、安立小学校、深江小学校、玉出小学校、北津守小学校、天王寺小学校、大開小学校、千本小学校、依羅小学校、桑津小学校、築港小学校、宝栄小学校、住吉小学校、今川小学校、長原小学校、上福島小学校、栄小学校

＜松原市＞松原北小学校、松原南小学校、天美南小学校

＜羽曳野市＞古市小学校

＜八尾市＞美園小学校

＜吹田市＞豊津第一小学校

＜和歌山市＞名草小学校、太田小学校、西佐和小学校、楠見西小学校、貴志小学校、砂山小学校、有功小学校、＜和歌山県橋本市＞柱本小学校、紀見小学校

＜和歌山県五条市＞合部小学校

＜和歌山県紀の川市＞麻生津小学校

＜和歌山県海南市＞大東小学校、黒江小学校、巽小学校

＜和歌山県広川町＞立津木小学校

＜奈良県香芝市＞香芝北中学校、智辯学園奈良カレッジ小学部

＜兵庫県伊丹市＞鴻池小学校＜兵庫県宝塚市＞私立仁川学院小学校

＜徳島県三好市＞池田小学校

(2) その他大学・高等学校等の見学受け入れ

小学校以外に大学、高等学校、その他団体を受け入れ、学芸員や教育専門員が展示解説等を行い、博物館における学習を支援した。

《入館者数：2,042人・67団体》

① 大学・高等学校等

大阪府立泉大津高等学校、大阪府立成美高等学校、大阪府立今宮高等学校、大阪府聴覚支援学校、大阪府立堺支援学校、和泉市鶴山台第一・二保育園、パドマ幼稚園小学部蓮塾、大阪府立千里青雲高等学校、大阪府立和泉支援学校、埼玉県和光高等学校、桃山学院大学、奈良大学博物館実習、大阪観光大学、堺あすなろ学園

② その他団体

和泉市商店連合会、和泉市社会福祉協議会年輪大学、和泉市子供会リーダークラブ、NPO法人大阪府高齢者大学校、大阪府老人大学同窓会「七和会」、大阪府高齢者大学歴史探訪科、檀原真菅千鳥会、京都市KIUアカデミー、社会福祉法人覚寿会、吹一地区公民館、日本ボーイスカウト大阪第166団、日本ボーイスカウト島本第1団、大阪ガールスカウト第101団、日本ボーイスカウト泉佐野第1団カブ隊、日本ボーイスカウト泉州スカウトクラブ、たつの市中島子供会、大阪市営地下鉄OB会、高槻市今城塚歴史館文化財の会、有田川町教育委員会、芦屋市歴史同好会、豊中遊歩会、坂根病院デイケア、吹田市母子福祉会、サンチャイルド子ども会、大阪府立母子保健総合センター、小牧市教育委員会文化財振興課、泉大津市弥生学習館、サンゴ会（大阪市立OB会）、泉州北障がい者就業・生活支援センター和歌山県児童館連絡協議会、東大阪気楽会、八尾市跡部史遊会、O.フレンズ、社会福祉法人障友会わらわら草部、いずみ健老大学歴史部、泉大津・高石フリー活動栄養士会、コスモス会（知的障がいボランティア）、綾井子ども会（高石市綾園）

(3) 小中学生団体の利用促進のため小学校教諭を対象に下見説明会を実施した。

4月4日（水） 26校

《参加者：26人》

4月5日（木） 12校

《参加者：27人》

4月6日（金） 23校

《参加者：58人》

(4) 体験ゾーンの活用

屋外に設置した竪穴住居の復元施設の活用を推進した。

《利用者数：5,741人・77回》

(5) 資料貸出し

資料を貸し出し、授業の一助とした。

6月7日(木) 和泉市立池上小学校 H20年冬季企画展パネル

12月8日(土) NPO法人高齢者大学校 貫頭衣・火おこしセット

(6) 出前授業

小学校等から依頼を受け、教育専門員および学芸員が出向いて授業を行った。

《実績：3,880人・103回》

＜堺市＞竹城台小学校、熊野小学校、市小学校、深井小学校、南八下小学校、三原台小学校、土師小学校

＜河内長野市＞天見子ども会

＜泉大津市＞戎小学校、条南小学校、楠小学校

＜岸和田市＞旭小学校

＜岬町＞深日小学校

＜大阪市＞千本小学校、弁天小学校、日吉小学校、築港小学校、荻田南小学校、加賀屋小学校、東中川小学校、栄小学校、榎並小学校、生魂小学校、玉出小学校

＜枚方市＞藤阪小学校

＜豊中市＞桜井谷東小学校、西丘小学校

＜八尾市＞亀井小学校、高安西小学校

＜松原市＞天美南小学校、中央小学校、松原小学校

＜羽曳野市＞高鷺北小学校、丹比小学校、埴生南小学校、西浦小学校、埴生小学校、高鷺小学校、丹比幼稚園、古市南小学校

＜河南町＞白木小学校

＜枚方市＞川越小学校

＜和歌山市＞宮北小学校

＜兵庫県三田市＞木器子ども会

＜高校＞大阪府立豊島高等学校、大阪府立伯太高等学校、大阪府立成城高等学校

(7) 博学連携

博物館の活動をよりよく理解してもらうため、小学校から大学までを対象に、展示解説やバックヤードツアーを行ったほか、教員を対象に博学連携セミナーを実施し、意見交換の場を設けた。

《参加者数：568人》

5月15日(火)～5月17日(木) 大阪府立泉大津高等学校2年生3回 252人

5月19日(土) 桃山学院大学博物館学芸員資格取得課程履修生 4人

6月23日(土) 大阪府立千里青雲高等学校ワンデートリップ 40人

8月16日(木) 府内高校生(8校) 8人

同日 府内小中学校教員(20校) 26人

8月17日(金) 府内高等学校教員(20校)	23人
8月23日(木) 富秋中学校ほか3校合同研修会	46人
8月24日(金) 府内小中学校教員(30校)	33人
1月19日(土) 大手前大学史学専攻生「展示解説ボランティア」	17人
1月26日(土) 大阪教育大学博物館学芸員課程	50人
1月30日(水) NPO法人大阪府高齢者大学	55人
2月4日(月) 和泉市小学校社会科教育部12校	14人

(8) 大学生博物館学実習

実習生を受け入れ、博物館の実務について指導した。

7月25日(水)・26(木) 奈良大学通信教育部学生	70人
7月31日(火) 各16大学博物館実習	28人
8月1日(水)～8月4日(土) 各6校博物館実習	26人

(9) 中学生・高校生の職場体験学習

中学生を1～2日間受け入れ、博物館業務を体験する機会を提供した。

9月20日(木)・21日(金) 高石市立高石中学校	5人
10月18日(木) 埼玉県和光高等学校	17人
10月18日(木)・19日(金) 貝塚市立第二中学校	1人
10月25日(木)・26日(金) 高石市立取石中学校	3人
11月6日(火)・7日(水) 和泉市立信太中学校	2人
11月13日(火)・14日(水) 和泉市立郷荘小学校	4人
11月15日(木)・16日(金) 和泉市立石尾中学校	5人
11月20日(火)・21日(水) 忠岡町立忠岡中学校	5人
11月29日(木) 大阪府立和泉総合高等学校	11人
12月6日(木) 大阪府立大手前高等学校	4人
12月22日(土) 大阪府立千里星雲高等学校	6人

(10) 教員等研修の受け入れ

教員等の研修を博物館に誘致し連携を深めた。

7月31日(火) 鳳中学校小中学校事務部会	101人
-----------------------	------

(11) 小学生ミュージックコンサートの連携打診

3月7日(木) 泉大津市条東小学校、条南小学校、楠小学校 3校	
3月7日(木) 和泉市池上小学校、幸小学校、信太小学校、黒鳥小学校、伯太小学校 5校	

6. 「どこでも博物館」事業

(1) 出張展示

他館や他団体と連携し、当館資料やパネル等を展示した。

① 大阪府立狭山池博物館

《入館者数：12,897人》

- ア. 開催期間 4月28日(土)～5月27日(日)
- イ. 備考 「弥生の美」
- ② 泉大津市池上曾根弥生学習館 《入館者数：11,564人》
- ア. 開催期間 4月1日(日)～3月31日(日)
- イ. 備考 当館所蔵の資料を展示
- ③ 和泉市池上曾根弥生情報館 《入館者数：70,350人》
- ア. 開催期間 4月1日(日)～3月31日(日)
- イ. 備考 当館所蔵の資料を展示
- ④ 太子町竹之内街道資料館 《入館者数：1,161人》
- ア. 開催期間 4月1日(日)～5月30日(水)
- イ. 備考 出張展示「難波大道」
- ⑤ 泉大津市織編館 《入館者数： 10人》
- ア. 開催期間 7月26日(木)～9月11日(火)
- イ. 備考 「ふるさとの民具―泉大津の木製品―」
- ⑥ 河内長野市立ふるさと学習館 《入館者数：1,252人》
- ア. 開催期間 8月18日(土)～9月30日(日)
- イ. 備考 「奥河内の縄文時代展」
- ⑦ 大阪府立中央図書館 《入館者数：22,950人》
- ア. 開催期間 9月11日(火)～9月23日(日)
- イ. 備考 「卑弥呼の時代を描こう優秀作品展及び卑弥呼の復元衣装と食卓」

(2) 出張体験学習

各種催しに体験学習ブース等を出店した。

- ① 子育てコミュニティールーム コトコトステージ 《参加者数：22人》
- ア. 開催日 4月8日(日)
- イ. 内容 博物館へ行こう！「親子おたのしみ銅鐸色塗り体験会」
- ウ. 連携先 西宮阪急百貨店
- ② 民商祭り 《参加者数：1,500人》
- ア. 開催日 5月4日(金)
- イ. 内容 「土器パズル」
- ウ. 連携先 和泉高石民主商工会
- ③ 日帰りバスツアー 《参加者数：264人》
- ア. 開催日 5月23日(水)、5月25日(金)～27日(日)
- イ. 内容 館内見学、展示解説
- ウ. 連携先 和泉市商店連合会
- ④ おでかけ！しおんじやま古墳 in アリオ八尾 《参加者数：131人》
- ア. 開催日 6月10日(日)

- ⑭ みんかオータムフェア
ア. 開催日 10月27日(土)
イ. 内 容 「魚を石器で切ろう」
ウ. 連携先 日本民家集落博物館
《参加者数： 452 人》
- ⑮ 和泉市商工まつり
ア. 開催日 10月27日(土)、10月28日(日)
イ. 内 容 「土器・銅鐸パズル」
ウ. 連携先 和泉市
《参加者数： 478 人》
- ⑯ 和泉弥生ロマン・ツーデーウォーク
ア. 開催日 10月13日(土)、10月14日(日)
イ. 内 容 ゼッケン使用者の無料入館
ウ. 連携先 和泉弥生ロマン・ツーデーウォーク実行委員会
《参加者数： 71 人》
- ⑰ いずみの JA 農業まつり
ア. 開催日 11月18日(日)
イ. 内 容 「土器パズル」
ウ. 連携先 JA いずみの
《参加者数： 146 人》
- ⑱ 古代体験秋まつり
ア. 開催日 11月3日(土)
イ. 内 容 「消しゴム勾玉」
ウ. 連携先 兵庫県立考古博物館
《参加者数： 113 人》

(3) 講演・講座

大阪府立弥生文化博物館学芸員が、各所から依頼を受け、出張講演・解説を行った。

- ① いずみ健老大学(堺市立すえむら資料館)
- | | | |
|--------------------|---------|------------|
| 5月23日(水)「縄文時代の学習①」 | 塚本主任学芸員 | 《参加者数：21人》 |
| 5月30日(水)「縄文時代の学習②」 | 塚本主任学芸員 | 《参加者数：21人》 |
| 6月6日(水)「縄文時代の学習③」 | 塚本主任学芸員 | 《参加者数：21人》 |
| 6月13日(水)「縄文時代の学習④」 | 塚本主任学芸員 | 《参加者数：21人》 |
| 6月20日(水)「弥生時代の学習①」 | 三好副館長 | 《参加者数：21人》 |
| 6月27日(水)「弥生時代の学習②」 | 柴田学芸員 | 《参加者数：21人》 |
| 7月4日(水)「弥生時代の学習③」 | 三好副館長 | 《参加者数：21人》 |
| 7月11日(水)「弥生時代の学習④」 | 三好副館長 | 《参加者数：21人》 |
| 7月18日(水)「弥生時代の学習⑤」 | 三好副館長 | 《参加者数：21人》 |
| 2月27日(水)「博物館の仕事①」 | 正岡主任学芸員 | 《参加者数：21人》 |
| 3月6日(水)「博物館の仕事②」 | 正岡主任学芸員 | 《参加者数：20人》 |
- ② 桃山学院大学「インテグレーション科目：図書館・博物館へのいざない」
- | | | |
|-----------------|---------|------------|
| 5月28日(月)「考古学概論」 | 正岡主任学芸員 | 《参加者数：33人》 |
|-----------------|---------|------------|

- 6月13日(水)「博物館の現実ー考古学博物館の視点から」三好副館長 《参加者数：58人》
- ③ 大阪府立中央図書館ライティホール「出かける博物館講座」
- 6月22日(金)「古代の上下水道技術」
- 大阪府立弥生文化博物館館長 黒崎 直 《参加者数：40人》
- 9月20日(木)「木の匠ー弥生時代の農具を中心にー」
- 大阪府立弥生文化博物館主任学芸員 正岡 大実 《参加者数：42人》
- 11月15日(木)「ハケ岳山麓の縄文土器ー土にこめた思い」
- 大阪府立弥生文化博物館主任学芸員 塚本 浩司 《参加者数：64人》
- 2月21日(木)「金属器生産にみる技ー弥生時代を中心としてー」
- 大阪府立弥生文化博物館 副館長 三好 孝一 《参加者数：50人》
- ④ やお文化協会
- 12月 4日(火)「銅鐸をつくる」
- 大阪府立弥生文化博物館主任学芸員 正岡 大実 《参加者数：15人》
- ⑤ 大阪府高齢者大学自然文化を楽しむ科出張講座
- 1月26日(土)「古代の食を考えるー作って、採って、調理してー」
- 大阪府立弥生文化博物館 学芸員 柴田 妃三光
- ⑥ にわ里カレッジ第15回 NPO法人古代邇波の里・文化遺産ネットワーク
- 1月26日(土)「大阪の弥生時代ー東海とのつながりにもふれながらー」
- 大阪府立弥生文化博物館 副館長 三好 孝一
- ⑦ しおんじやま学び場 歴史講座3月 しおんじ山古墳学習館
- 3月2日(土) 「周辺の遺跡を知ろうー大阪の弥生時代ー」 《参加者数：25人》

7. 「体験する博物館」事業

(1) 体験学習・ツアー

体験することにより、知的好奇心を高め、また当館により親しんでもらうため、特別展・企画展関連以外にもワークショップ等を行った。

- ① ゴールデンウィーク特別企画 Let's TRY 参加者数 計 1,156人
- 5月3日(木)「土器パズル」 《参加者数：66人》
- 「狩人きぶん」 《参加者数：131人》
- 「こいのぼりをつくろう」 《参加者数：73人》
- 「弥生のお米つき・弥生土器で炊飯実験」 《参加者数：42人》
- 「海渡くんをさがせ！」 《参加者数：134人》
- 5月4日(金)「犬人形をつろう」 《参加者数：105人》
- 「竪穴住居をたてよう」 《参加者数：54人》
- 5月5日(土)「土器パズル」 《参加者数：64人》
- 「こいのぼりをつくろう」 《参加者数：90人》
- 「竪穴住居をつくろう」 《参加者数：76人》
- 「海渡くんをさがせ！」 《参加者数：108人》

5月6日(日)「土器パズル」	《参加者数：70人》
「狩人きぶん」	《参加者数：85人》
「弥生のお米つき・弥生土器で炊飯実験」	《参加者数：58人》
② 弥生博の夏フェス 8月24日(金)～8月31日(金) 参加者数 計 3,244人	
8月24日(金)「桂九雀の考古学落語」NPO法人ニワ里ネットと連携	《参加者数：108人》
「金印をつかって封をしよう」	《参加者数：70人》
「土器パズル」	《参加者数：28人》
8月25日(土)「手軽にプラネタリウム」	《参加者数：130人》
「石器で魚が切れるかな？」	《参加者数：150人》
「火おこし体験」	《参加者数：186人》
「卑弥呼からの指令」	《参加者数：104人》
「土器パズル」	《参加者数：85人》
8月26日(日)「紙すき体験」	《参加者数：4人》
「水鳥形埴輪ペーパークラフト」近つ飛鳥博物館と連携	《参加者数：88人》
「足あとをくらべてみよう」	《参加者数：85人》
「よくわかる？聞いてみよう展示室のギモンツアー」	《参加者数：38人》
「土器パズル」	《参加者数：88人》
8月28日(火)「ガラス玉プレスレット」、「ハニワ帝国こうていがやってくる！」	
八尾市立しおんじやま古墳学習館と連携	《参加者数：145人》
「見てみよう！博物館の宝べやツアー」	《参加者数：136人》
「竪穴住居をたてよう」	《参加者数：108人》
「卑弥呼からの指令」	《参加者数：242人》
「土器パズル」	《参加者数：171人》
8月29日(水)「棒はかりをつくろう」大阪府計量検定所と連携	《参加者数：79人》
「計量クイズ」同上と連携	《参加者数：132人》
「フェイスペイントで変身」	《参加者数：36人》
「土器パズル」	《参加者数：63人》
8月30日(木)「消しゴムで？ができちゃった」(夏季特別展ワークショップ関連)	《参加者数：81人》
「えんぴつこすってあらわれた」	《参加者数：55人》
「足あとをくらべてみよう」	《参加者数：7人》
「卑弥呼からの指令」	《参加者数：76人》
「土器パズル」	《参加者数：47人》
8月31日(金)「チリメンモンスターをさがせ」きしわだ自然資料館と連携	《参加者数：71人》
「立版古をつくろう(竪穴住居編)」	《参加者数：61人》
「石器で魚が切れるかな？」	《参加者数：140人》
「フェイスペイントで変身」	《参加者数：45人》
「土器パズル」	《参加者数：88人》

8月24日(金)、8月26日(日)、8月29日(水)、8月31日(金)

「海渡くんはどこ？」

《参加者数：297人》

③ 関西文化の日ワークショップ

11月10日(土)「計量クイズ」大阪府計量検定所との連携

《参加者数：147人》

「健康器具体験」大阪府計量検定所との連携

《参加者数：30人》

「池上曾根遺跡見学ツアー」

《参加者数：7人》

「火おこし」

《参加者数：102人》

「立版古をつくろう(みのり編)」

《参加者数：22人》

「はり絵をしよう」

《参加者数：37人》

「土器・銅鐸パズル」

《参加者数：43人》

11月11日(日)「棒はかりをつくって計量に挑戦」大阪府計量検定所との連携

《参加者数：22人》

「計量クイズ」大阪府計量検定所との連携

《参加者数：166人》

「健康器具体験」大阪府計量検定所との連携

《参加者数：33人》

「池上曾根遺跡見学ツアー」

《参加者数：22人》

④ 冬休みLet's TRY

12月22日(土)「ガラス勾玉をつくろう!!」

《参加者数：83人》

「土器・銅鐸パズル」

《参加者数：38人》

12月23日(日)「鏡をつくろう!!」

《参加者数：66人》

「土器・銅鐸パズル」

《参加者数：41人》

12月24日(月)「鏡をつくろう!!」

《参加者数：48人》

「トナカイ貯金箱をつくろう」

《参加者数：52人》

「土器・銅鐸パズル」

《参加者数：48人》

⑤ 館内体験

1月12日(土)「土器・銅鐸パズル」

《参加者数：23人》

1月26日(土)「土器・銅鐸パズル」

《参加者数：32人》

2月9日(土)「土器パズル」

《参加者数：30人》

2月23日(土)「土器パズル」

《参加者数：5人》

3月2日(土)「土器パズル」

⑥ 弥生フェスティバル

3月26日(火)～31日(日)「土器・銅鐸パズル」計6回

《参加者数：510人》

3月26日(火)「はにわストラップづくり」八尾市しおんじやま古墳学習館

《参加者数：108人》

3月26日(火)「ポスターでマイバックをつろう」大阪府立近つ飛鳥博物館

《参加者数：137人》

3月26日(火)「ガラス勾玉をつろう」

《参加者数：275人》

3月27日(水)「縄文ポシェットをつろう」

《参加者数：68人》

3月27日(水)、31日(日)「狩人きぶん」

《参加者数：255人》

3月27日(水)～29日(金)「見てみよう!博物館の宝やツアー」

計6回

《参加者数：144人》

3月28日(木)「粘土板 de 文様」	《参加者数：146人》
3月28日(木)、29日(金)「石器で勾玉をつろう!!」	《参加者数：405人》
3月28日(木)～30日(土)「弥生ミニ劇場：日本めっちゃ昔ばなし」大阪府立今宮高等学校演劇部	
計3回公演	《参加者数：431人》
3月29日(金)「FUN DO 消しゴム」	《参加者数：225人》
3月29日(金)～31日(日)「オリジナル布バックをつろう」	《参加者数：183人》
3月30日(土)「チリメンモンスターをさがせ」岸和田自然資料館、きしわだ自然友の会	
計2回	《参加者数：48人》
3月30日(土)「銅鐸を作ろう」	《参加者数：87人》
3月30日(土)「はり絵をしよう」	《参加者数：79人》
3月26日(火)「竪穴住居をたてよう」4回、30日(土)2回	計6回 《参加者数：249人》
3月31日(日)「カラー魚拓に挑戦!!」拓正会 2回	《参加者数：20人》
3月31日(日)「勾玉消しゴムをつろう」	《参加者数：228人》

⑦ 文化庁補助金事業ワークショップ

3月17日(土)「鏡をつくろう」、「ガラス勾玉をつくろう」	《参加者数：36人》
-------------------------------	------------

(2) 子どもファーストデイ企画「みんないっしょに考古案!2012」

大阪府教育委員会が実施する「こころの再生」府民運動のうち、毎月第3土曜日の「子どもファーストデイ」に参加し、コミュニケーションを深めるきっかけをつくる体験学習を行った。

4月21日(土)「弥生の弓矢体験」	《参加者数：16人》
5月19日(土)「脱穀体験」	《参加者数：20人》
6月16日(土)「石器を使ってみよう」	《参加者数：20人》
7月21日(土)「弥生の火おこし体験」	《参加者数：25人》
8月18日(土)「鳥形紙ひこうきをつろう」	《参加者数：8人》
9月15日(土)「土器に触ってみよう」	《参加者数：24人》
10月20日(土)「弥生の米つき体験」	《参加者数：12人》
11月17日(土)「石器の切れ味体験」	《参加者数：9人》
12月15日(土)「火おこし」	《参加者数：2人》
2月16日(土)「土器に触れてみよう」	《参加者数：37人》
3月16日(土)「弥生の火おこし」	《参加者数：30人》

8. その他各種連携事業

(1) 企業との連携

・西宮阪急「子育てコミュニティールーム コトコトステージ」

4月8日(日)「博物館へ行こう!親子おたのしみ銅鐸色塗り体験会」2回	《参加者数：22人》
------------------------------------	------------

・近鉄百貨店

7月21日(土)「土器パズル」、「ドキ!ドキ?土器くらべ」、「勾玉消しゴム作り」

《参加者数：96人》

7月22日(日)「土器パズル」、「ドキ!ドキ?土器くらべ」、「勾玉消しゴム作り」

1月31日(木) 近鉄文化サロン「装剣金具の美」
 大阪府立弥生文化博物館 副館長 三好 孝一
 2月2日(土) 近鉄百貨店阿倍野店「近鉄プレミアムツアー」

《参加者数:194人》
 《参加者数:9人》
 《参加者数:3人》

(2) 公共機関、大学、法人等との連携

・ きのわ自然資料館

7月14日(土) ミニワークショップ 「鏡づくり」 《参加者数:21人》
 7月28日(土) ミニワークショップ 「鏡づくり」 《参加者数:5人》

・ 社団法人 和泉青年会議所

7月16日(月・祝) 「IZUMI dream puroject2012-change the future 土器パズル」
 行事全体の参加者数:1500人 《参加者数:78人》

・ 大阪府文化財センター

4月21日(土) 成合遺跡現地説明会 土器パズル 《参加者数:255人》
 5月12日(土) 萩之庄南遺跡現地公開 土器パズル 《参加者数:173人》
 9月1日(土) 讃良郡条里遺跡現地説明会 土器パズル 《参加者数:350人》
 10月27日(土) みんなのオータムフェア 魚を石器でころう 《参加者数:452人》
 3月23日(土) 千堤寺西遺跡現地説明会 土器パズル 《参加者数:11人》

・ 大阪観光大学

10月14日(日) 「博物館とは、学芸員とは、デジタルコンテンツの利用 など」
 《参加者数:15人》

・ 桃山学院大学

11月8日(木) 「和泉の歴史・文化・和泉スイーツを味わう」
 第4回エクスカッション池上曾根遺跡 和泉市教育委員会 《参加者数:44人》

・ 大手前大学史学研究所

12月15日(土) 公開講座 《参加者数:72人》

・ 考古学研究会

2月2日(土) 関西例会 第180回研究会 《参加者数:86人》

・ 古墳時代研究会

2月17日(日) 第83回古墳時代研究会 《参加者数:78人》

9. 広報普及事業

(1) 弥生フェスティバル開催

当館の存在を広くPRするとともに、地元の各種団体や他の博物館、企業と連携して楽しく学べる空間を創出することを目的として、弥生フェスティバルを実施した。堺市・和泉市・泉大津市・高石市・岸和田市・忠岡町の各教育委員会に依頼し、各市全児童にチラシを配付した。

ア. 開催期間 平成25年3月26日(火)～31日(日) 6日間 《入館者数:5,515人》

イ. 入館料 無料

ウ. イベント 前掲 ※ 参照

(2) 要覧の作成

『平成 23 年度弥生文化博物館要覧』（平成 25 年 3 月 29 日発行）を作成し、関係諸機関に配付した。

(3) 特別展・企画展・その他催しのポスター等の作成・配布

ポスター、チラシ、招待券等を催しの規模に応じて作成し、広報活動に活用した。

(4) 常設展リーフレット作成

常設展示の内容を簡単に紹介した A 4 三折りのリーフレット（日本語・英語・中国語・韓国語）を配布した。

(5) 小学生用見学のしおり・ワークシート

小学生が弥生文化を学習するうえで助けとなるよう、「小学生のための見学のしおり」を配布した。

また、社会見学等で来館の学校団体には、ワークシート（8 種）を用意し、ホームページからダウンロードできるようにしてご利用いただけるようにした。

(6) 解説シート

常設展示の解説シート（7 種）及びボランティアが作成した常設展示点字解説シート、特別展示点字解説シート、外国語解説シート等を用意した。

(7) 問合せ対応

マスコミ、出版社等弥生文化を中心とする質問についての回答や、参考文献の紹介をすることで、弥生文化に関する情報を発信した。

(8) マスコミ・ミニコミへの資料提供

各種イベントごとに報道提供資料を作成し、大阪府政記者会、大阪教育記者会、堺市政記者クラブに情報を提供した。また、新聞社やテレビ局各社をはじめ情報誌、地元ミニコミ誌へも同様の資料を作成・送付し、広報への協力を依頼した。

(9) インターネットホームページ

ホームページおよびブログによる情報提供を行った。

《年間アクセス件数：458,507 件》

10. 資料貸出

当館所蔵の資料（実物・復元・写真・映像等）を全国各地の博物館等へ貸出し、所蔵資料を活用するとともに、各方面へ弥生文化に関する情報を発信した。

《資料 10 件・71 点／写真 58 件・109 点》

11. 研究事業

国内外の研究者との学術交流

- | | | |
|------------------------------|------|---------|
| ① 5 月 16 日 (水) 中部考古学研究所所長 | 金 武重 | 大韓民国 |
| ② 5 月 29 日 (火) 蔚山文化財研究所 | 李 秀鴻 | 大韓民国 |
| ③ 7 月 10 日 (火) 廣西師範学校旅遊研究所教授 | 廖 國一 | 中華人民共和国 |
| ④ 8 月 2 日 (木) 慶北大學校教授 | 李 熙濬 | 大韓民国 |
| 大邱韓医大學教授 | 金 世基 | 大韓民国 |

	韓国伝統文化大學校	許 權	大韓民国
	慶北大學校講師	權 恩妹	大韓民国
	慶北大學校大學院通譯	金 宇大	大韓民国
	慶南發展研究院歴史文化センター資料室長	河 承研	大韓民国
	慶南發展研究院歴史文化センター研究員	崔 榮峻	大韓民国
⑤ 8月24日(金)	中央研究院歴史語言研究所研究員	臧 振華	中華民国
	国立台湾大学人類学研究所碩士	邱 鴻霖	中華民国
	大阪芸術大学芸術学部教養課程客員教授	久米 雅雄	
⑥ 9月30日(日)	埼玉大学教養学部准教授	中村 大介	
	大阪大谷大学准教授	長友 朋子	
	大手前大学史学研究所主任	魚津 克彦	
	日本学術振興会特別研究員	東村 純子	
⑦ 10月13日(土)	大阪大谷大学准教授	長友 朋子	
⑧ 10月14日(日)	大阪観光大学講師	青木 真兵	
⑨ 11月 1日(木)	駒沢大学歴史学科考古学専攻講師	寺前 直人	
⑩ 11月 8日(木)	北海道開拓記念館	右代 啓視	
⑪ 11月10日(土)	文化財廳国立加耶文化財研究所学藝研究室		
	同研究室長	朴 鍾盒	大韓民国
	同研究室専門研究員	鄭 修鈺	大韓民国
	同研究室専門研究員	梁 眞碩	大韓民国
	同研究室研究員	朴 賢晶	大韓民国
	花園大学文学部文化遺産学科教授	高橋 克壽	
⑫ 1月19日(土)	大手前大学総合文化学科准教授	森下 章司	
⑬ 2月 2日(土)	岡山大学(考古学研究会関西例会)	松木 武彦他	
⑭ 2月17日(日)	大阪大学	都出比呂志他	
⑮ 3月 5日(火)	今治市朝倉ふるさと美術古墳館	窪田 利子	

12. 資料製作事業

学術図書の計画的購入など、資料収集に努めた。

13. サービス事業

(1) アンケート調査の実施

よりよい館運営を行うため、展示室にアンケート用紙を設置したほか、講演会やコンサートでアンケート用紙を配付し、来館者の要望や展示内容の疑問などの把握に努めた。

(2) 音声ガイド

展示資料に対する理解をより深めてもらうため、日本語による音声ガイド(常設展示・特別展示)と英語版音声ガイド(常設展示)を用意し、無料で貸し出した。

(3) 館内紹介ビデオ・DVD

主に学校団体ご利用に向けて、館内ならびに体験ゾーンの紹介と見学に際しての注意を盛り込んだ映像ソフトの貸し出しを行った。

(4) 設備

来館者の便宜供与あるいは省資源化を目的として、下記の設備を設置ないし更新した。

- ・ 特別展示室におけるLEDスポットライトの導入
- ・ 特別展示室の展示ケースの照明効果を上げるため、反射防止シートを設置
- ・ 展示内容を充実させるため、展示ケースを購入
- ・ 講演会や展示内容を充実させるため、プロジェクターを購入
- ・ 地震時に本が落下し利用者に危険が及ぶのを防ぐため、図書コーナーの書棚に落下抑制テープを貼付

14. 自主事業

ミュージアムショップの整備

オリジナルグッズや受託販売商品の充実に努めた。

15. 入館者数及び入館料一覧表

区 分	入館者数 (人)			入館料 (円)	備 考
	有 料	無 料	合 計		
常 設 展	1,602	8,741	10,343	286,780	41 日間
割合%	12.7	19.4	17.9		
春季企画展Ⅰ	1,286	11,247	12,533	367,240	44 日間
割合%	10.2	25.0	21.8		
春季企画展Ⅱ	2,317	6,345	8,662	714,540	56 日間
割合%	18.4	14.1	15.0		
夏季特別展	1,729	5,804	7,533	683,660	54 日間
割合%	13.7	12.9	13.0		
秋季特別展	2,884	8,802	11,686	1,162,980	53 日間
割合%	22.8	19.6	20.3		
冬季企画展	2,809	4,048	6,857	741,380	57 日間
割合%	22.2	9.0	12.0		
合 計	12,627	44,987	57,614	3,956,580	305 日間
割合%	100.0	100.0	100.0		
平成 23 年度実績			63,223	4,555,000	307 日間
平成 22 年度実績			58,413	4,953,420	303 日間
平成 21 年度実績			49,738	6,272,760	304 日間

(金額は税込額)

V 大阪府立近つ飛鳥博物館事業

1. 特別展企画展事業

(1) 春季特別展「王と首長の神まつりー古墳時代の祭祀と信仰ー」

【総入館者数 23,919 名・特展入館者数：9,045 名・展示室 158 名／日】

ア. 開催趣旨 古来、人々は様々な場で神まつりを行ってきました。古墳時代には、居館や集落、水辺など、峠や島など様々な場面で神まつりが行われたと考えられています。古墳時代のまつりでは、模造品などの様々な祭具が使われていました。こうしたまつりには、仏教以前の基層信仰や外来信仰、そして古代国家形成期の社会的状況が反映されていると考えられるでしょう。この展示では、古代国家の形成期である古墳時代から古代にかけての神まつりのあり方を見ていくことにより、古墳時代の人々の思想や信仰に迫りたいと考えています。

イ. 開催期間 平成 24 年 4 月 28 日（土）～7 月 1 日（日） 【会期：57 日間】

ウ. 特別展図録の作成・出版、ポスター・ちらし・招待券の作成配布

図録の詳細は 7－（6）参照。

エ. 講演会等

春季特別展講演会

・5 月 13 日（日）「弥生時代の神まつり」

金関 恕氏（大阪府立弥生文化博物館）【145 名】

・5 月 27 日（日）「古墳時代の禊払いの埴輪たち」

水野正好氏（奈良大学名誉教授）【160 名】

・6 月 10 日（日）「カミマツリから神祇祭祀へ」

西宮秀紀氏（愛知教育大学教授）【144 名】

・6 月 24 日（日）「王と首長の神まつり」

白石太一郎（当館館長）【282 名】

シンポジウム【243 名】

・6 月 3 日（日）『古墳時代の祭祀と信仰』

「カミまつりと祭式」今尾文昭氏

（奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 学芸課長）

「古墳時代祭具の性格と令制祭祀」笹生 衛氏（國學院大学教授）

「神まつりの形」廣瀬時習（当館学芸員）

討論司会／白石太一郎（当館館長）

オ. 展示解説【6回・計189名】

特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。

実施日：4月30日(月・祝)、5月4日(土・祝)、5月19日(土)、6月9日(土)、
6月16日(土)、6月30日(土)

カ. 音声ガイドによる展示解説 特別展を解説した音声ガイドの貸し出しを行った。

キ. れきしウォーク 6月2日(土)「三輪山と纏向遺跡を歩く」 【64名】

ク. 広報 インターネット HP、当館沿線の駅貼り広告やミニコミ誌などを用いた
PRやポスター・リーフレットの配布等、多様な広報活動を行った。

ケ. 開会式 4月28日(土) 地元を中心とした関係者、協力者、報道関係者を招待
し実施した。

(2) 夏季企画展「古代の装身具（アクセサリー）」

【総入館者数 13,039 名・特展入館者数：4,757 名・展示室 121 名／日】

ア. 開催趣旨 「飾る」という行為は「衣・食・住」に比べ、生活する上では必要不可欠ではないが、連綿と現代にまで通じる習慣のひとつといえます。
生活必需品ではない「装身具」という遺物をとおして「なぜ飾るのか」
について考えたい。夏休み期間、勾玉作りや貫頭衣着用などの体験を
行い、歴史を学ぶ児童向けに親しみやすい展示を行います。

イ. 開催期間 平成24年7月21日(土)～9月2日(日) 【会期：39日間】

ウ. ポスター・ちらし・招待券の作成配布

エ. 講演会・体験学習 展示に即した講演会を実施。小・中学生を対象とした勾玉
づくりなど体験学習を実施した。

・8月5日(日)「腕輪形石製品からみたヒメ・ヒコ制」白石太一郎（当館館長）

【100名】

・9月2日(日)「装身具からみた藤ノ木古墳の二人の被葬者」白石太一郎（当館館長）

【193名】

オ. 展示解説【5回・計140名】

特別展示室において当館学芸員による展示解説を実施した。

実施日：7月21日(土)、8月4日(土)、8月13日(月)、8月26日(日)、
9月1日(土)

カ. 音声ガイドによる展示解説 企画展を解説した音声ガイドの貸し出しを行った。

- キ. 広報 インターネットホームページ、当館沿線の駅貼り広告やミニコミ誌などを用いた PR やポスター・リーフレットの配布等、多様な広報活動により来館者の増加に資した。

(3) 秋季特別展「南九州とヤマト王権―日向・大隅の古墳―」

【総入館者数 29,447 名・特展入館者数：8,813 名・展示室 160 名／日】

- ア. 開催趣旨 宮崎県から鹿児島県にかけての南九州地域は、前方後円墳分布域の南限、すなわち古墳文化の周縁地域といえます。この地域には前期の大型前方後円墳を含む生目古墳群や、九州地方最大の前方後円墳を含む西都原古墳群など、ヤマト王権との密接な関係を示す古墳群がみられる一方、地下式横穴や板石積石棺墓など地域色が豊かな墓制の展開がみられる地域です。独特の埋葬施設や葬送風俗がみられる一方で、ヤマト王権とのかかわりを抜きにしては考えられない鉄製武器や武具の副葬がみられ、初期須恵器の出土例も増加しています。今回の展覧会では南九州の古墳時代の最新の調査成果を紹介すると共に、ヤマト王権と地域とのかかわりについて考えていきたいと思います。

- イ. 開催期間 平成 24 年 9 月 29 日（土）～12 月 2 日（日） 【会期：55 日間】

- ウ. 特別展図録の作成・出版、ポスター・ちらし・招待券の作成配布。

図録の詳細は 7－(6) 参照。

- エ. 講演会等 開催に際し、展示に即した講演会およびシンポジウムを実施した。

秋季特別展講演会

10 月 14 日（日）「古墳からみた近畿と南九州の政治環境」

水野正好氏（奈良大学名誉教授）【186 名】

10 月 28 日（日）「日向の古墳と首長墓系譜」

柳澤一男氏（宮崎大学名誉教授）【162 名】

11 月 23 日（金・祝）「南九州の大型前方後円墳とヤマト王権」

白石太一郎（当館館長）【254 名】

シンポジウム【249 名】

11 月 11 日（日）「南九州とヤマト王権」

「日向の古墳時代を考える」 犬木努氏（大阪大谷大学教授）

「古墳築造の南限域を考える」 橋本達也氏（鹿児島大学総合研究博物館准教授）

「地下式横穴墓の最新研究」 吉村和昭氏（奈良県立橿原考古学研究所総括研究員）

進行／白石太一郎（当館館長）

オ. 展示解説 特別展示室において当館学芸員による展示解説を実施した。

【6回・計156名】

実施日：9月30日（日）、10月8日（月・祝）、10月20日（土）、11月18日（土）、
11月25日（日）、12月1日（土）

カ. 音声ガイドによる展示解説 特別展を解説した音声ガイドの貸し出しを行った。

キ. れきしウォーク 特別展にそった館外での遺跡見学会を実施した。

11月4日（日）「隼人の遺跡を訪ねて ―南山城の古墳と横穴をめぐる―」

【60名】

ク. 広報 インターネットホームページ、当館沿線の駅貼り広告やミニコミ誌など
を用いた PR やポスター・リーフレットの配布等、多様な広報活動によ
り来館者の増加に資した。

ケ. 開会式 地元を中心とした関係者、協力者、報道関係者を招待し、実施した。

（4）冬季特別展「歴史発掘 おおさか2012－大阪府発掘調査最新情報－」

【総入館者数18,367名・特展入館者数：4,651名・展示室81名／日】

ア. 開催趣旨 大阪府では多くの発掘調査が実施されています。こうした調査成果か
ら遺跡を身近に感じ、私たちの街、大阪の魅力を再発見していただき
ます。特別展開催にあたっては、府内市町村の協力を得ます。

イ. 開催期間 平成25年1月26日（土）～3月24日（日） 【会期：57日間】

ウ. 特別展図録の作成・出版、ポスター・ちらし・招待券の作成配布

図録の詳細は7－（6）参照。

エ. 講演会 開催に際し、展示に即した講演会、発掘調査報告会を実施した。

冬季特別展講演会

・2月11日（月・祝）「百舌鳥古市巨大古墳の航空レーザー測量図からわかること」

白石太一郎（近つ飛鳥博物館館長）【175名】

・3月17日（日）「大阪の古代史 ―今、活気づく―」

水野正好（奈良大学名誉教授）【149名】

冬季特別展調査報告会

・2月3日（日）【92名】

・3月23日（土）【106名】

オ. 展示解説【6回・計120名】

特別展示室において当館学芸員が展示解説を実施した。

1月27日(日)、2月10日(日)、2月24日(日)、3月10日(日)、

3月16日(土)、3月20日(水・祝)

カ. 音声ガイドによる展示解説 特別展を解説した音声ガイドの貸し出しを行った。

キ. 広報 インターネットホームページ、当館沿線の駅貼り広告やミニコミ誌などを用いたPRやポスター・リーフレットの配布等、多様な広報活動により来館者の増加に資した。

2. 「市町村と連携する博物館」事業

(1) 連携展示事業

地元市町村を中心に大阪府内市町村教育委員会の共催・後援の協力を得た。また、冬季特別展では、展示品の情報、解説原稿、報告会の実施の協力を得た。

春季特別展 主催：本館・文化庁・毎日新聞社

後援：河南町・河南町教育委員会・太子町・太子町教育委員会・
近畿日本鉄道株式会社

協力：滋賀県立安土城考古博物館

夏季特別展 後援：河南町・河南町教育委員会・太子町・太子町教育委員会

世界文化遺産登録推進本部会議

秋季特別展 主催：本館・読売新聞社

後援：宮城県教育委員会・鹿児島県教育委員会・

河南町・河南町教育委員会・太子町・太子町教育委員会

特別協力：宮崎県立西都原考古博物館

鹿児島大学総合研究博物館

冬季特別展 主催：本館

後援：河南町・河南町教育委員会・太子町・太子町教育委員会

デザイン協力：大阪芸術大学芸術学部デザイン学科

(2) スポット展示

大阪府内における発掘調査最新成果の展示公開を市町村教育委員会、大阪府教育委員会、当財団、他調査機関の協力を得て適時実施した。【4回61日・計8,260名】

・8月18日(土)～9月9日(日)「東大阪市 花屋敷・瓜生堂・岩田遺跡の発掘

調査報告」【20日・2,106名・108名／日】

- ・9月15日（土）～10月8日（月・祝）「池内遺跡の発掘調査成果」【20日・1,556名・77名／日】
- ・9月25日（火）～10月8日（月・祝）「百舌鳥古市古墳群の航空レーザ測量の成果品の展示公開」【12日・3,694名・307名／日】
- ・2月2日（土）～2月11日（月・祝）「石塚古墳群の発見一埋もれていた6世紀の横穴式石室」【9日・904名・100名／日】

（3）広報の強化

近隣市町の協力を得て、広報誌等に当館の案内やコラム等を掲載し、効率的かつ効果的な広報を行った。

3. 「府民が参加する博物館」事業

（1）近つ飛鳥常設展示解説・土曜講座（オーサカ発 調査研究最前線）

継続して実施してきた講座「入門講座」は、名称を変更し、常設展示の各コーナーに特化した解説を展示室にて行い、より多くの来館者に参加していただく機会を作った。「土曜講座」は最新の発掘調査や研究を知る機会として開催した。大阪府教育委員会、当財団、府内市町村と連携した事業。

ア. 入門講座「もっと知りたい『ちかつ博』－常設展示解説－」

毎月第2土曜日を基本とし、常設展示室内の各コーナーにて当館学芸員が一般展示解説を行った。目標通り計10回を実施した。【10回・計213名】

- ・第55回 5月12日（土）「仏教文化の開花」ほか
- ・第56回 6月17日（土）「古墳の終わりと墓」ほか
- ・第57回 7月14日（土）「竪穴式石室の時代」ほか
- ・第58回 8月11日（土）「埴輪の世界」
- ・第59回 9月8日（土）「開発と技術」ほか
- ・第60回 10月13日（土）「大古墳の造営」
- ・第61回 11月10日（土）「横穴式石室の世界」ほか
- ・第62回 12月8日（土）「一須賀古墳群を歩こう探ろう」
- ・第63回 2月9日（土）「現代科学」ほか
- ・第64回 3月9日（土）「仏教文化の開花」ほか

イ. 土曜講座

毎月第4土曜日を基本とし、年10回の実施目標であったが、7回にとどまった。

【7回・計341名】

- ・第46回 5月26日(土)「湖を見つめた王」

大道和人氏(滋賀県立安土城考古博物館学芸課主任)

- ・第47回 6月23日(土)「古墳祭祀からみた神まつり」

飯田浩光(当館学芸員)

- ・第48回 7月28日(土)「装身具から考える男性と女性」

関本優美子(当館学芸員)

- ・第49回 8月25日(土)「瓜生堂遺跡・岩田遺跡・花屋敷遺跡の調査成果」

黒須亜希子氏(公益財団法人大阪府文化財センター)

- ・第50回 9月22日(土・祝)「池内遺跡の調査成果」

川瀬貴子氏(公益財団法人大阪府文化財センター)

- ・第51回 10月27日(土)「南九州と近畿における馬の生産と埋葬」

鈴 千夏(当館学芸員)

- ・第52回 11月24日(土)「儀礼からみた横穴と地下式横穴」

森本 徹(当館学芸員)

(2) 風土記の丘古墳時代まつり「春の風土記の丘であそぼう」

5月3日(木・祝)、博物館周辺にひろがる豊かな自然を持つ風土記の丘を積極的に活用する事業として、ウォークラリーをはじめ、勾玉づくり・森の工作・修羅引き体験・古代衣裳着用体験などを開催した。【450名】

(3) 古墳の森コンサート

博物館屋上階段広場に特設ステージを設け、黄泉の塔をバックに地元高校生による音楽会を開催した。親しみある博物館・風土記の丘にふれ合う場をめざし、展示の観覧を促した。地元高校生の軽音楽部、フォークソング部などの発表、他学校との交流の場とした。春季、秋季の計2回開催した。

- ・4月29日(日) 長野高校・上宮太子高校・金剛高校・藤井寺高校

【4校・456名】

- ・11月3日(日) 長野高校・上宮太子高校・金剛高校・河南高校・阪南大学高校

【5校・374名】

(4) こども博物館バックヤード探検ツアー

小中学生およびその保護者を対象に、博物館をより親しみが持てるよう、博物館の仕組みの説明や、普段公開しない収蔵庫などの博物館のバックヤードを観察する見学会を実施した。

・7月28日(土)【参加人数：20名】

・8月25日(土)【参加人数：25名】

(5) こども近つ飛鳥風土記の丘古墳探検ツアー

小中学生および保護者を対象に、近つ飛鳥風土記の丘の一須賀古墳群を見学する探検ツアーを実施した。

・5月5日(土・祝)【23名】

・12月8日(土) 【9名】

(6) 近つ飛鳥ギャラリー

地階広場、1階ロビーの空間を活用し、府民の文化活動を支援した。生涯学習の発表の場として、絵画・写真等の展示スペースを提供した。

【12回・計：80,096名】

・3月17日～4月15日 「TO YOU 通友」

・4月27日～5月13日 「第4回ふるさと俳画展」

・5月22日～6月24日 「話題の鳥坂寺」

・8月4日～9月2日 「2012夏休み児童はにわ展」

(8月5日表彰式)

・9月13日～9月30日 「三田崇博世界資産写真展 2012

アフリカの遺産と人びと」

・10月2日～10月30日 「kojiのアトリエ展」

・11月2日～11月18日 「佐藤一正絵画展 —光と影の風景—」

・11月20日～11月25日 「MOA美術館南河内児童作品展」

・11月27日～12月9日 「よつばの会 油画作品展」

・1月19日～1月30日 「親子で集うふるさと写生会」作品展

・2月5日～2月24日 「友が島写真展」

・3月26日～4月14日 「写真展 想いのままに…」

(7) ボランティアの活用・募集、観光ボランティアへの支援

継続してボランティアを募集し、講演会・体験学習などの事業への支援活動を行

っていただいた。実施内容としては、さくらまつり・こどもファーストデイ・春季特別展開会式およびボランティア会議・古墳時代まつり・入門講座・土曜講座・講演会・河内飛鳥れきしウォーク・博物館バックヤード探検ツアー・こども工作室などがある。【登録 24 名・協力延べ人数 200 名】

(8) その他の事業

ア. さくらまつりの開催

3 月 30 日（土）～3 月 31 日（日）実施。ポスターでペーパーバッグをつくろう【480 名】、古代衣裳着用体験【309 名】などを実施。

イ. かなんフェス 2012 の開催

11 月 25 日（日）河南町町おこしのイベントである「かなんフェス 2012」を本館およびその周辺で開催した。当日は様々な催し物に加え、フリーマーケットが出店し、賑わいをみせた。【7101 名】

ウ. 講演会「近つ飛鳥を梅いっばいに」の開催

3 月 2 日（土）本館ホールを安藤忠雄氏講演会の会場として開催した。【503 名】

4. 「博物館 in school」事業－博学連携事業

(1) 出前授業

小学校、中学校、高等学校に学芸員が出向き、ワークショップ（体験学習）を通じて、古墳・飛鳥文化の理解に努め、館に親しみをもってもらい、また、体験学習で製作した作品を博物館内に展示する機会を設け、来館を促した。大学には博物館実習の一環として出張講座を行った。

小・中学校【40 件・1,325 名】 高校・大学【4 件・156 名】

(2) 学校団体利用案内の作成

学校団体が来館する際の利用手引を作成し、利用を促す近隣関連施設とも含めたコースの提案もすすめた。

(3) 学習用ワークシートの作成

博物館での児童生徒の学習意欲を促し、展示に対する興味を喚起するためにワークシートを作成した。【10,353 枚】

(4) 大学生博物館学実習および芸術大学実習・高校生学習

各大学から学芸員課程の履修学生を受け入れ、博物館学実習を行った。芸術大学の写真学科、映像学科、放送学科等の実習の場として博物館、風土記の丘の利用を支

援し、また高校生の研修の場とした。【19 件・計 413 名】

- 5 月 15 日（火）奈良大学 文学部 文化財学科 植野研究室 研修
- 5 月 20 日（日）大阪芸術大学 学生相談室
- 5 月 23 日（水）大阪芸術大学 文芸学科 長谷川研究室
- 5 月 25 日（金）岡山県高梁市立宇治高等学校
- 5 月 29 日（火）大阪府高齢者大学「考古学」
- 5 月 31 日（木）大阪府高齢者大学「歴史学古代科」
- 6 月 2 日（土）大阪大谷大学文化財学科 研修
- 7 月 18 日（水）大阪産業大学人間環境学部文化コミュニケーション学科 多様な文化
が伝播された古代の成り立ち
- 7 月 21 日（土）タイ 建築学部 学生 研修
- 7 月 27 日（金）奈良大学 通信教育部 博物館実習受入れ
- 7 月 31 日（火）大阪府立今宮高校 夏季集中講座
- 8 月 8 日（水）大谷大学（京都）博物館実習 対応
- 10 月 4 日（木）大阪府立大学大学院生命環境科学研究科、緑地環境学科 近つ飛鳥風
土記の丘 樹木実習
- 10 月 24 日（水）いづみ健老大学 研修
- 11 月 7 日（水）愛知工業大学 建築学科
- 11 月 24 日（土）南河内地区高等学校 美術クラブ交流会
- 11 月 29 日（木）大阪芸術大学 工芸学科 陶芸研究室
- 1 月 27 日（日）フィリピン 建築専門学校

(5) 大学生・高校生・中学生の職場体験学習

大学生・高校生・中学生を受け入れて、博物館事業運営の体験学習を実施し、将来の職業選択の参考とする体験を支援した。【11 件・計 29 名】

- 11 月 7 日（水）～9 日（金）太子町立中学校 職業体験
- 11 月 14 日（水）～15 日（木）富田林市立第三中学校 職業体験
- 11 月 20 日（火）河南中学校 職業体験
- 12 月 4 日（火）～5 日（水）富田林市立第一中学校 職業体験
- 12 月 6 日（木）大手前高校 セミナー
- 3 月 7 日（木）～8 日（金）河内長野市立千代田中学校 職業体験

(6) 教員の研修、研究団体の受け入れ

教員や研究団体等の研修を博物館で行うように誘致し、連携を深めた。教員研修では学校教育での博物館施設の活用連携を深めた。【3件・計17名】

8月22日（水）教職員自主研修

8月22（水）～23日（木）教職員新任研修

12月26日（金）教職員自主研修

(7) 一日館長の選定

8月5日実施。地元住民、特に児童に対して、地元の文化財や大阪府の古墳飛鳥文化の理解に努める一環として、児童による一日館長を任命した。博物館に親しみをもってもらい、利用活用を促す機会とした。太子町立磯長小学校6年、太子町立山田小学校6年生徒計2名が就任。白石館長講演会の開会挨拶、児童はにわ展表彰式の記念品贈呈、博物館探検ツアー隊長などの業務に従事した。

(8) 地元大学との連携

大阪芸術大学とのポスターデザインや音声ガイド作製の協力や作品発表の場として博物館を活用してもらった。

・冬季特別展ポスター・チラシ・リーフレットは大阪芸術大学芸術学部デザイン学科3回生が制作した。

(8) 2012 夏休み児童はにわ展

夏休み期間の近つ飛鳥ギャラリーで、7校の出前授業で行った埴輪づくりの作品展を実施した（8月4日～9月2日）。8月5日に表彰式を行い、優秀作品に「館長賞」「古墳の埴輪賞」「平成の埴輪賞」「ホッとユーモア賞」を贈呈した。 【10,140名】

5. 「どこでも博物館」事業

(1) 河内飛鳥れきしウォーク

各市町と連携して学芸員が実地での遺跡見学会を実施し、大阪の歴史を学び、来館の機会を促した。各特別展で実施。

・6月2日（土）「三輪山と纏向遺跡を歩く」 【参加人数：64名】

・11月4日（日）「隼人の遺跡を訪ねて ―南山城の古墳と横穴をめぐる―」

【参加人数：60名】

(2) 出張講座

公民館・図書館等へ学芸員が出向き、講演や体験学習を実施し、古墳・飛鳥文化の理解に努め、成人の生涯学習を支援した。また、来館の機会を促した。

①出張講座（当館学芸員）

5月20日（日）滋賀県立安土考古博物館

「神と王と民衆ー古墳時代の神まつり」廣瀬時習【48名】

6月23日（土）弥生文化博物館 弥生時代入門講座「聞いてなっとく弥生の世界」

「弥生時代のおわりと土器」市村慎太郎【80名】

8月4日（土）島根県出雲市平田文化館 国富中村古墳発見10周年記念シンポ

「国富中村古墳のお葬式」森本 徹【180名】

8月16日（木）大阪府立中央図書館

「弥生土器からみた土師器にみる土器づくり」市村慎太郎【55名】

3月9日（土）弥生文化博物館 冬季企画展

「弥生・古墳時代の刀装具」森本 徹【68名】

3月14日（木）竹内街道歴史資料館 歴史講座

「太子町の古代墓誌と火葬墓」森本 徹【31名】

②出張ワークショップ（公的機関・組織）【13団体・計1,709名】

5月6日（日）かなん道の駅「古代衣裳着用体験」

6月9日（土）「おでかけ！しおんじやま古墳」しおんじやま古墳学習館連携
古代衣裳体験

7月31日（火）夏休み親子でまが玉づくり教室～古代を体験してみよう～
寝屋川市立男女共同参画推進センター

8月26日（日）弥生文化博物館 夏のフェスティバル「ペーパークラフト」

9月14日（金）文化祭 PTA 古代衣裳着用体験

10月7日（日）大宝まつり（地元自治会）

10月27日（土）日本民家集落博物館わたくし「和同開珎ストラップをつくろう」

10月27日（土）古市古墳群世界遺産をめざして「熱く燃えよう！世界文化遺産
を大阪に」古墳時代の装い

10月14日（日）御堂筋かつぽ 2012 百舌鳥古市古墳群世界文化遺産登録推進
協議会議 連携 古代衣裳着用体験

11月3日（土）兵庫県立考古博物館「古代体験まつり」マブリンガ 勾玉をつくろう

11月4日(日) 河南町文化祭 「土器パズル、鏡パズル」

3月24日(日) Lic はびきの はびきの市民大学広開講座

春休み こども考古学講座～勾玉づくり編～

3月26日(火) 弥生フェスティバル「ペーパーバッグをつくろう」

③出張ワークショップ(民間)

4月7日(土) 西宮阪急 コトコトステージ「勾玉づくり」【8名】

8月17日(金) 阪急西宮 コトコトステージ「勾玉づくり」【32名】

8月18日(土) アベノ近鉄「ハニワ貯金箱をつくろう」&「古代衣裳体験」
【90名】

8月19日(日) アベノ近鉄「ハニワ貯金箱をつくろう」&「古代衣裳体験」
【98名】

④近鉄文化サロン『聖徳太子の虚像と実像』

4月19日(木) 「着て学ぶ 古墳時代の装い」関本優美子(当館学芸員)
【14名】

5月10日(木) 「聞いて学ぶ 聖徳太子の時代ー考古学からみた推古朝ー」
白石太一郎(当館館長) 【76名】

6月14日(木) 「歩いて学ぶ 聖徳太子墓から近つ飛鳥博物館へ」
森本 徹(当館学芸員)

⑤でかける博物館講演会 in リそな銀行本店

9月9日(日) 『河内王朝論をめぐって』【615名】

「河内王朝論を考える」上田正昭氏(京都大学名誉教授)

「考古学からみた河内王朝論」白石太一郎(当館館長)

⑥でかける博物館講座『古代の技に学ぶ』大阪府立中央図書館

10月18日(木) 「古墳の周濠にみる古墳時代の土木技術」
白石太一郎(当館館長) 【78名】

(3) 出張展示

実物資料や写真パネル等、館外での出張ミニ展示を行った。また、歴史教育の一助
とするとともに、当館の認知度アップにもつなげた。 【3件・計 15,753名】

4月28日(土)～5月27日(日) 大阪府立狭山池博物館
「一須賀古墳群と近つ飛鳥博物館」【12,897名】

4月1日(日)～5月27日(日) 太子町立竹内街道歴史資料館

「難波大道」【1,161 名】

8 月 18 日（土）～9 月 30 日（日）河内長野市立ふるさと歴史学習館

「河内長野市発掘調査成果展示会」【1,584 名】

3 月 3 日（日）阪神高速大和川線イベント【111 名】

（4）地元市町村との連携

地元市町村や自治会等の文化祭、遺跡発掘現地説明会などの催しへ積極的に参加した。

10 月 7 日（日）大宝まつり【160 名】

11 月 4 日（日）河南町文化祭【75 名】

（5）ホームページの充実

常設展・特別展・企画展の情報・博物館催し物案内など、近つ飛鳥博物館ホームページから発信した。学芸員の活動等はブログで即時的に発信し、内容の充実に努めた。アクセス数はスパムにより正確な数値が把握できなかった。【HP 更新 159 回】

6. 「体験する博物館」事業

（1）校外学習受入れ・体験学習

校外学習を積極的に受入れ、展示物の見学だけではなく、ペーパークラフト・勾玉工房等のワークショップおよび当館展示品の修羅（古墳時代の運搬具）の復原模造品を使った体験学習、風土記の丘のウォークラリー（古墳めぐり）を実施した。古墳飛鳥文化に親しみをもってもらい、また、展示物の理解を助けた。

【34 校・2,443 名】

（2）子ども工作室

小中学生を中心として、その保護者と共に、博物館の展示品をペーパークラフトで作る工作室を開催した。

・ 8 月 19 日（日）【144 名】

（3）こども勾玉づくり工房

小中学生とその保護者を対象にして、勾玉づくりを行った。

・ 8 月 4 日（土）【105 名】

・ 8 月 12 日（日）【102 名】

・ 8 月 25 日（土）【62 名】

(4) 古代衣裳着用体験

文化庁の平成 22 年度地域伝統文化総合活性化事業において作製した古墳時代・古代の復元衣裳を活用し、来館者および出張展示で着用体験していただいた。

- ・ 4 月 1 日（日）さくらまつり 本館【103 名】
- ・ 4 月 19 日（木）近鉄文化サロン【14 名】
- ・ 5 月 3 日（木）古墳時代まつり 本館【65 名】
- ・ 5 月 6 日（日）かなん道の駅【24 名】
- ・ 5 月 19 日（土）本館【24 名】
- ・ 6 月 9 日（土）しおんじやま古墳学習館【79 名】
- ・ 8 月 18 日（土）アベノ近鉄【90 名】
- ・ 8 月 19 日（日）アベノ近鉄【98 名】
- ・ 9 月 14 日（金）藤井寺高校文化祭 PTA【17 名】
- ・ 10 月 14 日（日）御堂筋かっぱ 2012 百舌鳥古市古墳群世界文化遺産登録推進協議会議 連携【110 名】
- ・ 11 月 25 日（日）かなんフェス 2012

(5) こどもファーストデイ

大阪府の「こころの再生」施策の一環として毎月第 3 土曜日に実施した。家族のコミュニケーションを深めるきっかけづくりを応援した。展示品に関わるものの製作や、風土記の丘の木の実や枝等を利用した工作指導を実施した。【12 回・348 名】

- ・ 4 月 21 日（土） 兜のデコパージュ
- ・ 5 月 19 日（土） はしご落とし
- ・ 6 月 16 日（土） 水鳥形埴輪ペーパークラフト
- ・ 7 月 21 日（土） 勾玉工房
- ・ 8 月 18 日（土） コロコロ観覧車・コリントゲーム
- ・ 9 月 15 日（土） 立体ブンブン独楽
- ・ 10 月 20 日（土） 風車・木の実拾い
- ・ 11 月 17 日（土） 木の実で森の伝言板
- ・ 12 月 15 日（土） Xmas ツリーとサンタ
- ・ 1 月 19 日（土） 巳年の土鈴
- ・ 2 月 16 日（土） トコトコペンギン坂下り
- ・ 3 月 16 日（土） 神獣模様のペンダント・ホルダー

7. 企業との連携事業

(1) 展示・広報・イベント等での協働

近鉄文化サロン等の近鉄グループと連携を通して、講座等を共同で実施し、広報や企画に関して民間の視点から協力を得た。またりそな銀行本店より会場をお借りして講演会を実施した。5-(2)-⑤参照。

(2) 遺跡見学ツアー

旅行会社や鉄道会社と連携し、博物館周辺の遺跡と博物館を見学するツアーや遠方へのツアーを共同企画した。

・11月28日(水)国際交流サービス 宮崎・鹿児島 史跡と考古の旅【45名】

8. 広報普及研究事業

(1) 機関紙「アスカディア・古墳の森」(博物館だより)の発行

展示会の案内、博物館活動の報告、タイムリーな話題や収蔵品の紹介を掲載して、博物館と府民のコミュニケーションを図るPR誌を年2回発行した。

アスカディア Vol.37 9月30日発行 4000部

アスカディア Vol.38 3月31日発行 4000部

(2) 近つ飛鳥博物館「館報」の刊行

博物館事業についての提言や館のテーマに沿った研究報告、年間事業記録などを掲載する館報を刊行した。下記(6)参照。

(3) 催し物案内の作成

府民や各種団体に博物館行事の周知を図り、来館を促すためのチラシを作成した。
3か月単位のミュージアムカレンダーを作成・配布した。

(4) マスコミ・ミニコミ紙等への情報提供等

新聞、テレビ、ラジオの報道機関、ミニコミ誌へ積極的に情報を提供した。鉄道会社にはポスター掲示をし、広くPRした。また、博物館周辺の地域住民へは自治会を通じて実施した。【報道提供14回・新聞雑誌広報等掲載回数334回】

(5) 広報の強化

インターネットの博物館情報サイト等の活用や共同運営をおこなう近鉄ビルサービス株式会社のグループとの連携により、関連施設での広報展示、パンフレットへの掲載など、より効果的な広報活動を展開した。

(6) 出版事業

展示資料の解説や展示内容の理解を深めるため、特別展図録等を発行・配布した。

また、館報は研究論文等を掲載しているところから、有償配布も実施した。

・「王と首長の神まつりー古墳時代の祭祀と信仰ー」大阪府立近つ飛鳥博物館図録 57

4月28日発行 1200円(960円※割引販売)

【広報1,000冊・販売1,500冊・販売数1,248(33)冊(平成24年度)】

※販売数は定価販売・割引販売の合算、()内は割引販売数。以下同。

・「南九州とヤマト王権ー日向と大隅の古墳ー」大阪府立近つ飛鳥博物館図録 58

9月29日発行 1200円(960円)

【広報1,000冊・販売1,400冊・販売数1,145(80)冊(平成24年度)】

・『歴史発掘おおさか 2012』大阪府立近つ飛鳥博物館図録 59 1月26日発行

600円(480円)

【広報1,000冊・販売700冊・販売数298(23)冊(平成24年度)】

・『大阪府立近つ飛鳥博物館 館報 16』12月31日発行 500円

【広報800冊・販売200冊】

9. 研究事業

(1) 他博物館などと連携した研究活動

大阪府、奈良県の博物館が連携した「金剛葛城地域博物館ネットワーク協議会」に加盟し、情報・意見交換、共同事業の開催など、相互協力した事業を進めた。また、学会・研究会等と連携した活動も努めた。

(2) 国内・海外の研究者との学術交流

国内大学研究者 3名

韓国研究者 8名

台湾研究者 1名

(3) 研究成果の発表

土曜講座や近つ飛鳥博物館「館報」において、研究成果を掲載し、発表した。

10. 資料調査収集製作事業

(1) 模型・レプリカの製作、実物資料・写真資料収集、映像ソフトの充実

秋季特別展では近畿と九州の馬の生産をテーマのひとつとしてとりあげたが、こ

れに沿って館蔵資料である葎屋北遺跡の馬骨復元模型から、生体模型を製作した。

(2) 図書購入

学術図書並びに普及啓発用図書を計画的に購入した。

(3) 館蔵資料の資料管理、学術的整理

重要文化財「修羅」、紫金山古墳、南塚古墳出土品など、定期的な点検を実施した。

また、館蔵資料の観察記録作成などの資料整理を行った。

11. サービス事業

(1) 特別開館日の設定

来館者の多い、春のゴールデンウィーク中日に当たる休館日（5月1日）と8月の盆休暇中の月曜日（8月13日）を臨時開館して利用者への便宜を図った。

(2) マーケットリサーチ、満足度調査の実施

アンケート等を通して、来館者の博物館に対するニーズを明確にし、今後の事業展開の基礎とした。

(3) 博物館グッズの販売、開発

当館にふさわしい魅力あるグッズの販売、オリジナルグッズの開発に努めた。

・「オリジナルクリアファイル」の製作・販売（安藤建築／家形埴輪・各200円）

・「オリジナルトートバッグ」の製作・販売（500円）

・「オリジナル巫女キューピー」の製作・販売（500円）

(4) ミュージアムスタッフの人材育成研修

来館者に対する応対マナーの研修（公共サービス窓口における配慮マニュアル（内閣府障害者施策推進本部発行）に準拠）を実施した。

(5) 設備の更新

展示室の仁徳天皇陵古墳模型の照明をLEDに交換し、これに伴う電気配線工事を行った。

中央監視基盤の経年劣化に応じ部品交換を行った。

空調の間欠運転により、省エネに対処した。

12. 入館者数及び入館料一覧

(平成24年度)

区分	入 館 者 数					入館料 (円・税込)	開館日数 (日)
	展示室入館者数			普及ゾーン 利用者数	博物館 総入館者数		
	有料	無料	計				
常設展	3, 146	4, 324	7, 470	24, 181	31, 651	784, 800	104
割合 (%)	18. 9	23. 9	21. 5	29. 6	27. 2	13. 1	
春季特別展 (4・28～7・1) 王と首長の神まつり	3, 950	5, 095	9, 045	14, 874	23, 919	1, 614, 000	57
割合 (%)	23. 7	28. 2	26. 0	18. 2	20. 5	27. 0	
夏季企画展 (7・21～9・2) 古代の装身具	2, 659	2, 098	4, 757	8, 282	13, 039	865, 200	39
割合 (%)	16. 0	11. 6	13. 7	10. 1	11. 2	14. 5	
秋季特別展 (9・29～12・2) 南九州とヤマト王権	4, 268	4, 545	8, 813	20, 634	29, 447	1, 626, 780	55
割合 (%)	25. 7	25. 1	25. 4	25. 3	25. 3	27. 2	
冬季特別展 (1・26～3・24) 歴史発掘おおさか2012	2, 614	2, 037	4, 651	13, 716	18, 367	1, 082, 460	50
割合 (%)	15. 7	11. 3	13. 4	16. 8	15. 8	18. 1	
合 計	16, 637	18, 099	34, 736	81, 687	116, 423	5, 973, 240	305
割合 (%)	100	100	100	100	100	100	

<年度比較>

平成23年度実績	17,651	14,625	32,276	67,171	99,447	6,467,360	304
平成22年度実績	20,262	14,908	35,170	68,432	103,602	7,172,400	306
平成21年度実績	24,375	18,131	42,506	65,979	108,485	8,177,020	307

VI 日本民家集落博物館事業

1. 展示事業

民家や展示室を活用して、各種展示を開催した。

(1) 常設展示

① 第一ブロック：国指定文化財を中心とするエリア

国指定重要文化財＝摂津能勢の民家、信濃秋山の民家、日向椎葉の民家

国指定重要有形民俗文化財＝飛騨白川の民家

大阪府指定有形文化財＝奄美大島の高倉

未指定＝河内布施の長屋門、堂島の米蔵

その他＝戦国期の五輪塔、地蔵を展示公開している。

また、「セミナールーム」を設置している。

② 第二ブロック：大阪府指定文化財を中心とするエリア

大阪府指定有形文化財＝大和十津川の民家、越前敦賀の民家、南部の曲家

大阪府指定有形民俗文化財＝小豆島の農村歌舞伎舞台

未指定＝北河内の茶室、割舟（奄美のサバニ・島根のソリコ）を展示公開している。

③ 「むかしのくらし展示」

ア. 内 容

「むかしのくらし展示コーナー」を改修して、稲作に関する民具を展示するとともに、「昭和の部屋」として昭和30年代の一部屋を再現した。

また、石臼体験コーナーを併設した。

イ. 展示期間 平成24年4月1日（日）～

(2) 市民展示

地域の文化サークルや団体・個人の文化活動の発表の場として、展示室や民家をギャラリーとして活用することにより地域に開かれた博物館を目指した。

① 「呑彩会展」

ア. 開催概要

豊中市内在住の絵画サークル「呑彩会」による、市内の風景画を中心とした水彩画作品を展示した。

イ. 開催期間 平成24年4月1日（日）～4月15日（日）

ウ. 場 所 日向椎葉の民家

② 「春のてまり展」

ア. 開催概要

日本てまりの会「都てまり」による、創作てまりを展示した。

イ. 開催期間 平成24年4月1日（日）～4月15日（日）

ウ.場 所 堂島の米蔵

③「FEB写真展」

ア.開催概要

写真サークル「FEB」による、民家風景を中心にした写真作品を展示した。

イ.開催期間 平成24年9月1日(土)～9月14日(金)

ウ.場 所 日向椎葉の民家

④「能面の世界・5」

ア.開催概要

「遊創工房」製作による能面作品を展示した。

イ.開催期間 平成24年10月6日(土)～10月19日(金)

ウ.場 所 堂島の米蔵

⑤「みんな文化芸術祭」

ア.開催概要

豊中市美術協会会員による絵画・写真・工芸、彫塑等の作品を展示した。

イ.開催期間 平成24年11月24日(土)～12月2日(日)

ウ.場 所 各民家(飛騨白川の民家・南部の曲家・北河内の茶室を除く)

⑥「游心会展」

ア.開催概要

「游心会」会員による書道作品を展示した。

イ.開催期間 平成25年3月2日(土)～3月10日(日)

ウ.場 所 日向椎葉の民家、摂津能勢の民家、大和十津川の民家

(3)文化庁地域伝統文化総合活性化事業に関わる展示

①「親子書道教室 作品展」

ア.開催概要

「みんな伝統文化体験教室」の親子書道教室参加者の作品を展示した。

イ.開催期間 平成25年3月19日(火)～3月24日(日)

ウ.場 所 セミナールーム

②「子ども絵画教室 作品展」

ア.開催概要

「みんな子ども絵画教室」参加者の作品を展示した。

イ.開催期間 平成25年3月23日(土)～3月31日(日)

ウ.場 所 日向椎葉の民家

(4)企画展示「香川県の民家と農村歌舞伎」

ア.開催概要

香川県の指定文化財民家等を紹介する展示を行った。また、小豆島の農村

歌舞伎公演を記念して、中山歌舞伎保存会が所蔵する歌舞伎衣装や小道具等を併せて展示した。

イ. 開催期間 平成 24 年 11 月 3 日(土・祝)～12 月 24 日(月・祝)

ウ. 場 所 セミナールーム

2. 各種催し開催事業

“親しまれる博物館”のための企画として、次の事業を実施した。

(1) 季節行事

日本に伝わる四季折々の行事に親しんでもらうため、民家を活用して下記の催しを行った。

行 事 名	開催期間	開催場所	備 考
こいのぼりと 五月人形飾り	4 月 17 日(火)～ 5 月 6 日(日)	飛騨白川の民家前庭 越前敦賀の民家	
ようか日	5 月 1 日(火)～ 5 月 5 日(土・祝)	摂津能勢の民家	
七夕かざり	体験：7 月 7 日(土) かざり：7 月 1 日(土) ～7 月 7 日(土)	大和十津川の民家 縁側	体験参加者 35 名
お盆飾り	8 月 12 日(日)～ 8 月 16 日(木)	日向椎葉の民家 信濃秋山の民家	
芋名月	9 月 27 日(木)～ 10 月 3 日(水)	大和十津川の民家	
正月飾り	1 月 5 日(土)～ 1 月 14 日(月・祝)	館内各民家	
ふるさとのお雑煮会	1 月 13 日(日)	飛騨白川の民家	雑煮販売 142 食
桃の節句・雛飾り	2 月 2 日(土)～ 3 月 3 日(日)	越前敦賀の民家	

(2) 参加体験型事業

来館者自らが体験できる催しを、民家等を会場に下記の通り実施した。

体験教室名	開催期間	開催場所	指導者 参加者
アート&クラフト(竹細工・折り紙ほか)	5 月 3 日(木・祝)・4 日(金・祝)・5 日(土・祝)	館内広場 飛騨白川の民家 日向椎葉の民家	江頭文雄 他 約 40 名

昔の遊び体験	5月5日(土・祝)	館内広場	久保田栄 他 約90名
親子たけのこ掘り	4月8日(日)・15日(日)	館内竹林	奥村管理員 103名
こんにゃく作り	4月30日(日) 2月23日(土)	日向椎葉の 民家前広場	大坪 章 他 87名
むしろ編みワークショップ	8月4日(土)	奄美大島の高倉	井藤館長 他 11名
紙すき体験	8月25日(土)	飛騨白川の民家	紙すき工房 25名
親子芋掘り体験	10月20日(土)・21日(日)	飛騨白川の民家 裏畑	紅山英世他 57名
餅つき体験	2月2日(土)・3日(日)	日向椎葉の 民家前	紅山多喜子 他 139名
コマ遊び	4月7日～7月7日・9月1 日～12月1日・2月16日～3 月23日の各土曜日34回実施	日向椎葉の 民家前広場	川島正雄 他 各回20名 約680名
石臼体験	4月8日～6月24日・9月2 日～12月9日・1月20日～ 3月17日の各日曜日 31回実施	石臼コーナー	西野誠一 他 各回10名 約310名
わらざうり作り	6月3日・17日・10月21・ 28日・11月4・11日・3月 24日の各日曜日 7回実施	南部の曲家他	山本捷子 他 各回5名 約35名
はたおり体験	10月27日～30日3回実施	南部の曲家	かるがも広 場 約50名

(3) 展示民家を活用しての催し

民家を会場として、音楽、古典芸能、昔話、茶会などの催しを行った。

文化活動団体に会場を提供することで、民家により親しんでもらうための活用を図った。

① 心に届く昔話と民話

ア.内 容 朗読企画「でくの工房」による昔ばなしの朗読。

イ.実施日 4月7日(土)・8日(日)

ウ.場 所 飛騨白川の民家

② 竹のつどい

ア.内 容 尺八グループ「竹のつどい」による演奏会。

イ.実施日 4月14日(土)

ウ.場 所 日向椎葉の民家

③ フォークコンサート

ア.内 容 フォークソング愛好会「バガボنز」による演奏会。

イ.実施日 4月15日(日)

ウ.場 所 日向椎葉の民家

④ みんな朗読会

ア.内 容 「グループ雲」による昔話や時代物の朗読会。

イ.実施日 4月28日(土)

ウ.場 所 日向椎葉の民家

⑤ 管弦楽コンサート

ア.内 容 「センチュリー・ユースオーケストラ」有志による演奏会。

イ.実施日 4月29日(木・祝)

ウ.場 所 日向椎葉の民家

⑥ 二胡と管楽器演奏

ア.内 容 「紅'Sベニーズ」による二胡と管楽器のコラボ演奏会。

イ.実施日 5月7日(土)

ウ.場 所 日向椎葉の民家

⑦ コカリナ演奏&民話

ア.内 容 「やまびこ」と「観覧車」によるコカリナ演奏と語り。

イ.実施日 5月19日(土)

ウ.場 所 日向椎葉の民家

⑧ むかし話を聞きましょう

ア.内 容 「豊中子ども文庫」による日本の昔話の語りと紙芝居。

イ.実施日 6月10日(日)・11月23日(金・祝)・3月20日(水・祝)

ウ.場 所 大和十津川の民家、飛驒白川の民家

⑨ 宮澤賢治の童話がたり

ア.内 容 岩手県大阪事務所の協力による童話語りとチェロ演奏。

イ.実施日 9月17日(月・祝)

ウ.場 所 南部の曲家

⑩ 落語で笑うて民家

ア.内 容 「大阪百楽の会」による落語会。

イ.実施日 10月11日(木)

ウ.場 所 大和十津川の民家

⑪ いろり端でむかし話

ア.内 容 「コスモス」による朗読会。

イ.実施日 10月14日(日)

ウ.場 所 日向椎葉の民家

⑫ 箏の演奏会

ア.内 容 川島正子・柳友紀子氏による春をテーマにした箏の演奏。

イ.実施日 3月3日(日)

ウ.場 所 大和十津川の民家

⑬ 親子茶道教室 お手前披露会

ア.内 容 「親子茶道教室」参加者によるお茶会。

イ.実施日 3月17日(日)

ウ.場 所 北河内の茶室

⑭ お茶会

ア.内 容 ボランティアの協力を得て茶室を公開し、茶会を開催した。

イ.実施日 4月7日(土)、21日、5月5日、19日、6月2日、16日、
7月7日、21日、9月1日、15日、10月6日、20日、
11月3日、17日、12月1日、15日、1月26日、
2月23日、3月30日 計19回

ウ.場 所 北河内の茶室

⑮ その他有料貸部屋利用

ア.内 容 民家の貸部屋を行い、俳句会、撮影会等の目的での利用を
促した。年間利用件数93件。(利用料収入525,500円)

イ.場 所 大和十津川の民家他

(4) 特別企画事業

① 「みんかオータムフェア」

ア.内 容 「服部緑地10月祭」に協賛して、親しめる博物館としてPR
するため、ワークショップ、民家のふるさと物産展、模
擬店、管楽器と尺八の演奏会、府立2博物館による「出か
ける博物館」等を実施。天候にも恵まれ多くの入館者で賑
わった。(当日入館者数 1,334名)

イ.実施日 10月27日(土)

② ボランティア研修旅行「南丹市美山町を訪ねて」

ア.内 容 ボランティアを対象に伝建集落と重文民家を探訪する日帰
りバスツアーを館長、学芸員が同行して実施した。

(参加者22名)

イ.実施日 11月13日(火)

③春の敬老フェア&民家で甘酒

ア.内 容 毎月15日に実施しているアクティブシニアの日(65歳以上入館料半額)を3日間に拡大するとともに、ボランティアの協力を得て、越前敦賀の民家の囲炉裏端で甘酒の販売を行った。(期間中シニア入館者142名、販売数139)

イ.実施日 平成25年3月15日(金)～3月17日(日)

3. 普及啓発事業

(1) 民家解説等の開催

①民家解説

ア.内 容 当館の20名のボランティアが、館内のいずれかの民家において、囲炉裏を焚きながらその民家について来館者に解説を行った。

イ.期 間 通年(開館日毎日)

②民家特別公開

ア.内 容 安全面への配慮から、通常未公開としている箇所を、ボランティアの協力を得て、特別公開した。

イ.期 間 通年(毎週火曜日午後)

ウ.場 所 飛騨白川の民家二階、北河内の茶室

(2) 囲炉裏体験

ア.内 容 45名のボランティアが、囲炉裏・竈に火を入れ、来館者へ囲炉裏体験サービスを行うとともに、民家の燻蒸に努めた。

イ.期 間 通年(開館日毎日)

ウ.場 所 飛騨白川の民家、日向椎葉の民家、摂津能勢の民家、信濃秋山の民家、南部の曲家、越前敦賀の民家

(3) 連続講座

企画展「香川県の民家と農村歌舞伎」に関連して、小豆島の農村歌舞伎や年中行事等について考察する連続講座を開催した。

第一回 「小豆島の農村歌舞伎について」

講 師：斧上紗木(四国民家博物館学芸員)

開催日：平成24年11月3日(土・祝)

第二回 「小豆島の魅力について」

講 師：藤田則久(香川県大阪事務所副主幹)

開催日：平成24年11月10日(日)

(4) 特別講座

大阪の民家について考察する特別講座を開催した。

「大阪の民家について」

講 師：杉本尚次(国立民族学博物館名誉教授)

開催日：平成25年3月30日(土)

(5) 企画展関連イベント 「小豆島農村歌舞伎公演」

ア.内 容 企画展「香川県の民家と農村歌舞伎」に関連し、香川県小豆島に伝わる「小豆島の農村歌舞伎」(香川県指定無形文化財)の公演を行った。公演両日ともに天候にも恵まれ、各回約200名の観覧者があった。

出演/小豆島町中山農村歌舞伎保存会

イ.開 催 日 平成24年11月3日(土・祝)～4日(日)

ウ.場 所 小豆島の農村歌舞伎舞台

エ.観 覧 者 約400名

4. 学校教育連携事業

(1) 大学博物館実習

ア.内 容 奈良大学通信教育部と関西学院大学の博物館実習生を受け入れ、博物館学芸員の実務について指導した。

イ.期 間 平成24年7月28日(土)・29日(日)、10月26日(金)・27日(土)

ウ.受入人数 37名

(2) 中学生の職場体験学習

ア.内 容 豊中市立第17中学校と箕面市立第2中学校の2年生の職場体験実習を受け入れ、地域の学校との連携を深めた。

イ.期 間 平成24年11月7日(水)～9日(金)

ウ.受入人数 5名

(3) こども囲碁クラブ

ア.内 容 小学生を対象に「大和十津川の民家」を会場として開催し、ボランティア16名が指導にあたった。

イ.期 間 平成24年4月14日(土)～平成25年3月30日(土)

第一週を除く土曜日 38回実施

ウ.生徒数 46名

(4) みんな伝統文化体験教室

ア.内 容 文化庁地域伝統文化総合活性化事業として、近隣の小学校親子を対象に「親子茶道・書道教室」を開催。

イ.期 間 平成24年9月23日(日)～平成25年3月17日(日)

毎月2回12回実施

ウ.参加数 26組52名

(5) 小学校の体験学習

ア.内 容 小学3年生社会科「昔の暮らし」・4年生社会科「暮らしの移りか

わり」単元と連動し、民家や民具を活用した独自の体験学習プログラムを実施した。

イ.実施日 平成24年9月14日(金)他 計26日

ウ.受入 豊中市立刀根山小学校3年生102名他 計27校2,242名

(6) みんな子ども絵画教室

ア.内 容 小学生を対象に、絵画を通じてより民家や囲炉裏に親しみと興味を深めてもらう目的で実施した。

イ.期 間 平成25年1月12日(土)～平成25年3月23日(土)
毎月3回9回実施

ウ.参加数 20名

5. ボランティア受入活動事業

ボランティアを募集し、その援助により館の諸活動の充実を期するとともに、地域社会に生涯学習の場を提供した。今年度は、66名が活動した。(内7名が新規登録者)

6. 施設整備事業

(1) 大阪府指定有形文化財旧藤原家住宅(南部の曲家)保存修理工事

ア.内 容 軸部、壁、茅屋根等に損傷が見られた南部の曲家について、破損・耐震調査を実施し、その結果をもとに保存修理工事を実施した。本工事は平成24、25年度の2ヵ年度継続事業として行われ、今年度は、柱・梁等の取替えなどの木工事と茅屋根の棟替えを中心とした補修を行った。

イ.工事期間 平成25年2月28日(水)～3月31日(日)

(2) 大阪府指定有形民俗文化財小豆島の農村歌舞伎舞台壁の補修

ア.内 容 小豆島農村歌舞伎公演に備えて農村歌舞伎舞台の土壁及びむしろ(こも)の補修を行った。むしろは職員及びボランティアが製作し、8月4日(土)には、「むしろ編みワークショップ」を行った。(参加者11人)

イ.補修期間 平成24年6月23日(土)～10月21日(日)

(3) 堺の風車の修復

ア.内 容 平成23年9月の台風12号の被害により倒壊した堺の風車を可能な限り原型に復元した。

風車の修復を記念して、平成25年3月3日、堺市博物館においてシンポジウムを開催した。(参加者98名)

イ.工事期間 平成25年1月29日(火)～3月8日(金)

(4) 園路スロープの補修

ア.内 容 南部曲家前の園路スロープに凹凸が生じ、車椅子・ベビーカー等の通行に支障をきたしていたためこれを補修した。

イ.工事期間 平成25年3月21日(木)～3月23日(土)

7. 広報事業

(1) 広報リーフレットの作成

「催し案内」を定期的に作成し、関係機関・団体に配布し広報に努めた。

項 目	発 行 月	部 数
秋の催し案内(9月～12月)	8月	10,000部
冬の催し案内(1月～3月)	12月	10,000部
春・夏の催し案内(4月～8月)	3月	10,000部

(2) インターネットによる広報

センターHPや大阪府・豊中市広報と連携し、当館の概要や催し案内の、インターネットによる広報に努めた。また、当館のホームページの更新を適時図り、「催し案内」や「花だより」などは最新の情報が掲載されるよう充実に努めた。

(3) DVD・ビデオによる広報

「堂島の米蔵」に、博物館紹介のDVD・ビデオの視聴コーナーを設けた。

また、学校等にDVD・ビデオの貸出を行い広報に努めた。

(4) 諸団体との連携

豊中市広報公聴課、地元ケーブルテレビ・FMラジオ、ミニコミ紙、北大阪急電鉄、緑地公園管理事務所等と連携し、効果的な広報に努めた。また、阪急友の会、府教職員互助組合等各種団体のメディアを通じての広報も実施した。

(5) 資料の作成・頒布

「民家の案内」「民俗（上・下巻）」を頒布した。(実績・・・民家の案内 210冊、民俗 11冊)

また、小中学生向け案内マップ及び英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、スペイン語による案内マップを作成し配布した。

8. 資料収集・研究事業

移築民家や収蔵民具に関する資料を収集するとともに、地域住民と連携し、広く情報を募りながら必要な資料の収集を行った。

9. 入館者数及び入館料収入一覧表

(平成24年度)

月	入館者数 (人)	入館料収入 (円)	開館日数 (日)
4月	5,086	1,782,350	26
5月	5,136	1,270,250	26
6月	2,023	462,750	26
7月	1,522	327,200	26
8月	1,349	274,100	27
9月	2,078	533,600	26
10月	5,808	1,118,650	26
11月	3,882	998,400	26
12月	1,529	344,350	22
1月	2,522	500,150	23
2月	3,707	788,350	24
3月	4,481	1,282,200	27
合計	39,123	9,682,350	305

※ 入館料は消費税込みで表示

<年度比較>

	入館者数	入館料収入	開館日数
平成23年度	34,505人	9,511,750円	305日
平成22年度	39,781人	11,523,990円	306日
平成21年度	40,730人	11,840,900円	300日